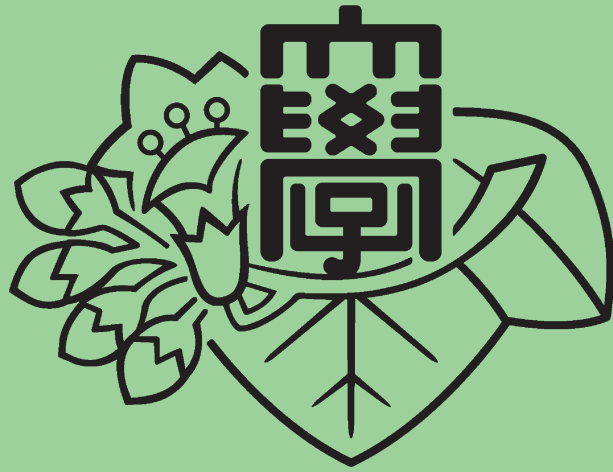


2025
令和7年度

入学者選抜要項



令和6年7月
岩手大学

本要項は、本学における入学者選抜の基本的事項について記載したものです。
試験等の実施期日、出願手続、出願書類等を含む「学生募集要項」は、別途公表しますので、詳細については「学生募集要項」でご確認ください。
なお、公表時期等については、61ページを参照してください。

目 次

岩手大学理工学部、農学部の改組及び獣医学部の新設について	1
I 岩手大学入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）	5
1 岩手大学入学者受入の方針	
2 学部別入学者受入の方針	
II 募集人員	24
III 入学者選抜方法等	25
1 一般選抜	
2 学校推薦型選抜、総合型選抜	
IV 一般選抜	27
1 個別学力検査実施方式	
2 学内併願	
3 出願資格	
4 出願期間及び合格発表日	
5 第2志望について	
6 実施教科・科目及び配点等	
(1) 人文社会科学部	
(2) 教育学部	
(3) 理工学部	
(4) 農学部	
(5) 獣医学部	
(6) 旧教育課程履修者に対する経過措置について	
7 実技検査等	
8 試験場	
V 学校推薦型選抜	42
VI 理工学部総合型選抜	49
VII 農学部総合型選抜	52
VIII 獣医学部総合型選抜	53
IX 私費外国人留学生選抜	55
X その他	57
1 予期せぬ事態が発生した場合の選抜方法について	
2 検定料免除	
3 個別の出願資格審査	
4 入試過去問題活用宣言について	
5 障がい等を有する入学志願者との事前相談	
6 入試情報の提供	
(1) 入学者選抜実施状況の公表	
(2) 受験者に対する試験成績等の開示	
7 学生募集要項の公表	
8 学生募集要項等の請求方法及び請求先	
9 建物配置及び案内図	

岩手大学理工学部，農学部の改組及び獣医学部の新設について

岩手大学では令和7年4月に，理工学部，農学部を改組するとともに獣医学部を新設します。

現 行

改組後

人文社会科学部 計200名 人間文化課程 125名 地域政策課程 75名	人文社会科学部 計200名 人間文化課程 125名 地域政策課程 75名
教育学部 計160名 学校教育教員養成課程 160名	教育学部 計160名 学校教育教員養成課程 160名
理工学部 計440名 化学・生命理工学科 90名 化学コース 生命コース 物理・材料理工学科 80名 数理・物理コース マテリアルコース システム創成工学科 270名 電気電子通信コース 知能・メディア情報コース 機械科学コース 社会基盤・環境コース	理工学部 計414名 理工学科 414名 化学コース 数理・物理コース 材料科学コース 知能情報コース クリエイティブ情報コース 電気電子・情報通信コース 機械知能航空コース 社会基盤・環境工学コース
農学部 計230名 植物生命科学科 40名 応用生物化学科 40名 森林科学科 30名 食料生産環境学科 60名 農村地域デザイン学コース 食産業システム学コース 水産システム学コース 動物科学科 30名 共同獣医学科 30名	農学部 計226名 食料農学科 50名 農学コース 食品健康科学コース 生命科学科 51名 分子生物機能学コース 分子生命医科学コース 地域環境科学科 70名 革新農業コース 森林科学コース 動物科学・水産科学科 55名 動物科学コース 水産システム学コース
	獣医学部 計30名 共同獣医学科 30名

※人文社会科学部，教育学部については今回の改組による変更はありません。

1 理工学部の改組の概要

(1) 改組の理念、背景

急速に進化する人工知能（AI）が世の中を大きく変えようとしているいま、データサイエンスを応用する力は、すべての科学技術者に必要な能力になりつつあります。一方で、地球環境やエネルギー問題を解決し、持続可能な社会をつくることは科学技術に求められた喫緊の課題です。

岩手大学理工学部はSDGsが謳われる前から、「ソフトパス理工学」を標語に、持続可能な社会の構築を目指してきました。今回の改組では、ソフトパス理工学教育をさらに強化するとともに、専門性+データサイエンス応用力を身に付けてもらうことで、専門性をより広範に展開できる人材を育成します。さらに、情報分野の教育研究を拡充するために、クリエイティブ情報コースを新設します。

(2) 改組のポイント

確かな専門性に加え、データサイエンス応用力を育む新たな教育プログラムを提供

① 3学科8コースから1学科8コースへ再編および2年次コース選択の柔軟化^{※1}

② デジタルメディア、UX / UI デザイン分野で活躍する人材育成を目指す「クリエイティブ情報コース」を新設

③ データサイエンス応用力を養成するデータサイエンス応用副プログラム^{※2}の導入

④ 入学時は2年次以降の各専門コースとつながる「クラス」として受け入れ、幅広い専門基礎教育を行う初年次教育プログラムを導入

※1 2年進級時のコース配属において、条件を満たせば入学時クラスと異なるコース配属も可能であり、柔軟に進路を選択できます。（各コース配属人数に上限有り）

※2 各コース専門教育と並行し、数理データサイエンスに関する教育が受けられる副プログラム制度。専門的な技術課題の解決にデータサイエンスの知識を生かすことができる人材を養成します。

(3) 養成する人材像

① 理学と工学の発想をともに理解し、社会の未解決課題に対し柔軟に挑戦できる人材
（学士 [理工学]）

② 科学技術を応用して社会の課題を解決し、持続可能な社会システムの構築に貢献できる人材
（学士 [工学]）

③ コンピューター・サイエンスの専門知識をもち、様々な応用分野で情報技術を駆使できる人材
（学士 [情報学]）

2 農学部の改組の概要

(1) 改組の理念、背景

岩手大学農学部は、前身の盛岡高等農林学校創立以来120年間、農学分野における地域および国内外の課題解決とその人材育成のための実践的かつ先端的な教育・研究を行ってきました。近年の農学分野においては、世界的規模で進む気候・環境の変化や農林水産業を取り巻く様々な情勢の変化を反映した教育・研究の重要性が増し、農学全体を幅広く理解するための教育と研究が強く求められています。

今回の改組では、農学の基盤である「食料」「生命」「環境」の3つの領域を基軸として、各領域に関する専門教育と研究を行うとともに、これらの3つの領域を統合した「農学の総合知」教育を行います。

岩手大学農学部は、創立から1世紀を越える「実学教育」の歴史と実績を最大限に生かし、地域と世界に貢献する特色ある「農学部」に改組することで、自身の専門分野に関して農学全体からの視点を持ち、修得した知識や技術を他の分野にも広く、そして力強く展開できる次世代の人材を育成します。

(2) 改組のポイント

「食料」「生命」「環境」をキーワードに、実践的かつ総合的な学びを提供

- ①「食料」「生命」「環境」をキーワードとした学科・コースの再編
- ②農学全体を俯瞰できる「農学の総合知」を養う実践的教育の実施
- ③ライフサイエンス分野の強化・充実

(3) 養成する人材像

- ①農学分野を幅広く、かつ全体的な視点で捉えることのできる人材
- ②種々の社会課題を農学の視点から包括的に捉えてその解決に当たることができる人材

3 獣医学部の新設の概要

(1) 改組の理念、背景

地域社会における岩手大学の実績と役割，獣医学および獣医師養成をめぐる社会の情勢の両側面から，岩手大学農学部共同獣医学科を改組し獣医学部を設置することとしました。

岩手大学獣医学部では，地域の要請に応えることが可能な国際通用性のある獣医学教育を実現し，産業動物獣医学・家畜衛生などの獣医に関する諸課題に対応可能な人材を育成することを目指します。

(2) 改組のポイント

地域の要請に応えるために国際通用性のある獣医学教育を実現

- ①産業動物分野，公衆衛生・家畜衛生分野の充実
- ②地域と連携した伴侶動物臨床分野の充実
- ③国際標準を目指した学部カリキュラムの改善
- ④学部での研修者養成プログラムの導入

(3) 養成する人材像

- ①地球環境の保全を含めOne Healthに関する高度な専門知識を修得し，獣医学領域に関わる課題について論理的に判断できる人材
- ②地球規模での感染症対策や畜産物の安全確保等に対して貢献できる知識を修得し，意欲を有する人材
- ③高度な専門知識に基づいて修得した獣医学領域で必要な技能を実践でき，論理性と倫理性を兼ね備えた行動規範を身につけた人材

I 岩手大学入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）

1 岩手大学入学者受入の方針

岩手大学は、地域における知の府としての役割を果たす教育研究の場として、国際的な視野を持ち、幅広い教養と深い専門性を備えて持続可能な共生社会の形成に寄与する人材の育成に取り組んでいます。

そのために、高等学校等における幅広い学びから育成される基礎的な知識と思考力に加えて、次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

- 真理の探究や課題の解決に向けて主体的に取り組む姿勢
- 地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップ
- 自然や人を思いやる心と倫理性
- 豊かな発想とチャレンジ精神、そしてコミュニケーション能力

入学者の選抜は、一般選抜（前期日程・後期日程）、総合型選抜（I・II・私費外国人留学生選抜）、学校推薦型選抜の各選抜区分により実施します。（編入学試験を除く。）

2 学部別入学者受入の方針

人文社会科学部

1 学部概要

人文社会科学部は、グローバル化の下で著しく変化する現代社会の諸問題を総合的観点から理解する能力と、人間・文化・社会・環境に関する専門的知識・能力を有し、地域社会及び国際社会に実践を通して貢献できる人材の養成を目指しています。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学部共通》

(1) 知識・技能・理解

人間・文化・社会・環境に関する基礎的知識・技能を有し、物事を論理的に考えることができる人

(2) 思考力・判断力・表現力

多様な考え方、異質なものの見方を理解しようとする柔軟な姿勢を持ち、物事を多角的に捉えるとともに、自分の考えを適切に表現し、それを積極的に発信できる人

(3) 関心・意欲

人間・文化・社会・環境のあり方とそれらをめぐる諸問題について強い探究心と広い観点から学ぶ意欲を持つ人

(4) 主体性・協働性

地域社会・国際社会の諸問題に実践的に取り組み、周囲の人々と協働しながら問題の解決を図ろうとする人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《学部共通》

- ・ 国語：読解力及び自分の考えを表現できる作文力
- ・ 英語：基本的な読解力・リスニング力・会話力・作文力
- ・ 地歴・公民：日本及び世界の地理・歴史・社会制度・社会思想などに関する基礎的知識と社会事象に対する関心
- ・ 数学：数学の基本的な概念を理解し、論理的に思考する力
- ・ 理科：日常生活や社会に見られる科学的な事象に対する基礎的知識
- ・ 情報：情報社会と情報通信技術、データ活用に関する基礎的知識
- ・ 高校生活全般：他人と積極的に関わることのできるコミュニケーション力

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針 《学部共通》

(1) 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別試験では「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。

(2) 一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストでは「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別試験では「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。

(3) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

小論文では「思考力・判断力・表現力」を、面接では「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を評価するとともに、出願理由書・調査書で「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を確認します。

(4) 私費外国人留学生入試

日本留学試験では日本語に関する基礎的能力を含めて「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を、小論文では「思考力・判断力・表現力」を評価します。そして、面接では出願理由書の内容の確認も併せて「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を評価します。

【人間文化課程】

1 課程概要

人間文化課程は、多様な固有文化を育み、歴史的に継承されてきた地域のあり方と、そこに暮らす人間の行動を多角的に学修し、グローバル化を踏まえた地域づくりと住民の心身両面の健やかな生活に貢献できる人材、及び地域の来歴を踏まえ、文化を世界に向けて発信できる人材を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

(1) 知識・技能・理解

人間・言語・文化・芸術・スポーツについて学ぶための基礎的知識・技能を有し、物事を論理的に考えることができる人

(2) 思考力・判断力・表現力

多様な特性をもつ人間・言語・文化・芸術・スポーツをめぐる諸現象を多角的に捉えるとともに、自分の考えを適切に表現し、それを積極的に発信できる人

(3) 関心・意欲

人間・言語・文化・芸術・スポーツをめぐる諸問題について地域及び世界双方の広い観点から学ぶことに高い関心を持つ人

(4) 主体性・協働性

人間・言語・文化・芸術・スポーツに関する学修を実践に活かし、周囲の人々と協働しながら地域社会・国際社会の諸問題を解決しようとする強い熱意を持つ人

【地域政策課程】

1 課程概要

地域政策課程は、東日本大震災の復興から、未来のモデルとなる持続可能な社会づくりへの道筋を見据え、地域創生・地域マネジメントへの課題に、法学・経済学・環境学それぞれの分野の学修を軸としながら、総合的視点から取り組むことのできる人材を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

(1) 知識・技能・理解

法学・経済学・環境学について学ぶための基礎的知識・技能を有し、物事を論理的に考えることができる人

(2) 思考力・判断力・表現力

複雑に絡み合う法・経済・環境をめぐる諸現象を多角的に捉えるとともに、自分の考えを適切に表現し、それを積極的に発信できる人

(3) 関心・意欲

現代の社会をめぐる諸問題について、法学・経済学・環境学の広い観点から学ぶことに高い関心を持つ人

(4) 主体性・協働性

法学・経済学・環境学に関する学修を実践に活かし、周囲の人々と協働しながら地域社会・国際社会の諸問題を解決しようとする強い熱意を持つ人

<別表>選抜に活用する評価方法とその評価項目

(1) 選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
小論文	一般（後期）	提示した問題・課題を通して、「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」に関する基礎的な能力を判定する。
小論文	学校推薦型 私費外国人留学生	提示した問題・課題を通して、「思考力・判断力・表現力」に関する基礎的な能力を判定する。
面接	学校推薦型	推薦書・出願理由書・調査書に関する質疑を行うことによって「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」について判定する。
面接	私費外国人留学生	出願理由書に関する質疑を行うことによって、「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」について判定する。
出願理由書	学校推薦型 私費外国人留学生	本学部を志望する理由を、これまでの勉学や様々な活動を通じて育まれた問題意識、本学部の教育内容、大学卒業後の希望進路などを踏まえて記入する。「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を判定する際の1つの資料にする。
調査書	学校推薦型	高等学校での科目の履修状況に加えて、教科外活動の状況やボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動、各種の資格・免許取得なども評価対象とする。「知識・技能・理解」「主体性・協働性」を判定する際の1つの資料とする。

(2) 選抜に活用する内容の重点評価項目

入学者選抜方法	該当選抜区分	知識・技能・理解	思考力・判断力・表現力	関心・意欲	主体性・協働性
大学入学共通 テスト	一般（前期）				
	一般（後期）	○	○		
個別学力検査 <教科>	一般（前期）	○	○		○
	一般（後期）		○		○
小論文	学校推薦型 私費外国人留学生		○		
	学校推薦型 私費外国人留学生		○	○	○
面接	学校推薦型 私費外国人留学生		○	○	○
	学校推薦型 私費外国人留学生		○	○	○
調査書	学校推薦型	○			○
日本留学試験	私費外国人留学生	○	○		

※一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）においては調査書は、高大接続及び学力の3要素評価の観点から、総合判定時の資料として活用します。

教育学部（学校教育教員養成課程）

1 学部概要

教育学部は、教員養成の専門学部として、教育に関する理論的・実践的な力量、教育内容とその背景をなす諸学問の理解及び豊かな人間性・社会性を備え、地域の要請に応えつつ、教員としての意欲と高い使命感をもって教育に取り組むことができる教員の養成を目的としています。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《学部共通》

(1) 知識・理解・技能

- ・ 幅広い教養教育と教員になるための専門教育に主体的に取り組む基礎となる知識・技能を有する人

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・ 知識を活用し論理的に思考・判断する資質・能力を有する人
- ・ 多面的な考え方や協調性を尊重するとともに、自分の考えを表現できるコミュニケーション能力を有する人

(3) 関心・意欲・態度

- ・ 学校教育に関わる種々の問題に関心を持ち、教員として社会に貢献する強い意欲を有する人
- ・ 豊かな人間性と子どもに対する深い愛情を有する人
- ・ 生涯学び続ける態度を有する人

(4) 主体性・協働性

- ・ 様々な課題に対し主体的に取り組むとともに、周囲の人々と協働して解決しようとする姿勢を有する人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《学部共通》

教育学部では、地域の要請に応えるために複数免許取得を卒業要件として義務付けていることから、できるだけ幅広い教科・科目について基礎的な内容を修得していることが望まれます。さらに得意な分野等については、より学習を深め、科目全般についての学習内容を理解し確かな知識・技能を修得していることが望まれます。また入学後の学習に必要な基本的な読解力と文章構成力を身につけていることが望まれます。

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針 《学部共通》

(1) 一般選抜（前期日程）

小学校教育コース・中学校教育コース（国語・社会・英語）・理数教育コース・特別支援教育コースでは、大学入学共通テスト及び個別学力検査によって「知識・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。中学校教育コース（音楽・美術・保健体育）では、大学入学共通テスト及び実技検査によって「知識・理解」「思考力・判断力・表現力」「技能」「関心・意欲・態度」を評価します。中学校教育コース（音楽・美術・保健体育）の個人面接では「関心・意欲・態度」を中心に評価します。また、志願者評価書は「主体性・協働性」を有しているかを、運動歴調査書は、運動技能を保有しているかを評価します。

(2) 一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「知識・理解」「思考力・判断力・表現力」を、小論文ではこれらに加え「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

(3) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

小学校教育コース・中学校教育コース（英語）・理数教育コース・特別支援教育コースの小論文では「知識・理解」「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。中学校教育コース（美術・保健体育）の実技検査では「技能」を中心に、「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」を評価します。小学校教育コース・中学校教育コース（美術・保健体育）・理数教育コース・特別支援教育コースの個人面接では「関心・意欲・態度」を中心に、中学校教育コース（英語）の個人面接では「関心・意欲・態度」「技能（英語の運用能力）」を中心にそれぞれ評価します。出願理由書は「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」を中心に、調査書・推薦書は「知識・理解」「主体性・協働性」を中心

に、面接で判定を行う際の資料として活用します。

【小学校教育コース】

1 コース概要

小学校教育コースは、人間の成長過程で重要な位置を占める小学校段階の教育を主として担う教員の養成を目的としています。本コースでは、小学校教育に関わる教科指導と生活指導に関する専門的知識・技能および実践的指導力に加え、小学校教育への使命感と豊かな人間性を持った教員を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《コース分》 ※学部共通項を参照

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《コース分》

小学校教育コースにおいては、幅広い教科についての基礎学力が必要とされ、広い学びと深い学びを両立できる意欲と学力を有していることが望まれます。

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

【中学校教育コース】

1 コース概要

中学校教育コースは、特定の教科に関する専門性を備え、生徒の発達に応じて適切に指導できる中学校段階の教育を主として担う教員の養成を目的としています。本コースでは、教科に関する専門的な学力とともに、生活指導に関する専門的知識・技能および実践的指導力を有し、中学校教育への使命感と豊かな人間性を持った教員を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《コース分》 ※学部共通項を参照

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《コース分》

中学校教育コースにおいては、できるだけ幅広い教科についての基礎学力とともに特に専門とする教科についての深い関心と学力を有していることが望まれます。

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

【理数教育コース】

1 コース概要

理数教育コースは、子どもたちに理科・数学に関する確かな学力を身に付けさせ、学ぶことの大切さを伝えるとともに、子どもたちの科学的な思考力や創造性を育成する理数教育の担い手として、小学校における理科・算数の教科リーダーとなる教員、また中学校における高い専門性を備えた理科・数学の教員を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《コース分》 ※学部共通項を参照

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《コース分》

理数教育コースにおいては、できるだけ幅広い教科についての基礎学力とともに特に自然科学・数学分野における旺盛な探究心と学力を有していることが望まれます。

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

【特別支援教育コース】

1 コース概要

特別支援教育コースは、特別支援学校、特別支援学級、小学校・中学校等の通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする子どもに対して、主体的取り組みを支援する観点から教育的ニーズを把握し、適確に指導・支援できる教員を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《コース分》 ※学部共通項を参照

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《コース分》

特別支援教育コースにおいては、特別支援教育の基礎として前述の「小学校教育コース」または「中学校教育コース」と同等の能力を有していることが望まれます。加えて、特別支援教育への熱意、多様な子ども一人ひとりに寄り添うことができる感性を有していることが望まれます。
※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

<別表>選抜に活用する評価方法とその評価項目

(1) 選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
小論文	一般（後期） 学校推薦型	学校教育に関連する基礎的な「知識・理解」を踏まえて、教職を目指す者としてふさわしい「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を有しているかを評価する。
個人面接	一般（前期）・音楽 一般（前期）・美術 一般（前期）・保健体育 学校推薦型	学校教育に関連する基礎的な「知識・理解」を踏まえて、教職を目指す者としてふさわしい「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」を有しているかを評価する。 学校推薦型選抜の中学校教育コース（英語）ではこれらに加えて「技能（英語の運用能力）」を評価する。
実技検査	一般（前期）・音楽 一般（前期）・美術 一般（前期）・保健体育 学校推薦型・美術 学校推薦型・保健体育	教職を目指す者としてふさわしい「技能」を中心に、「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」を有しているかを評価する。
志願者評価書	一般（前期）	高校時代の学業や課外活動の記録を通じて教職を目指す者としてふさわしい「主体性・協働性」を有しているかを評価する。
運動歴調査書	一般（前期）・保健体育 学校推薦型・保健体育	競技成績等の運動歴を通じて保健体育科教師としてふさわしい運動技能を保有しているかを評価する。
出願理由書	学校推薦型	「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」を中心に、個人面接で判定を行う際の資料として活用する。
調査書	学校推薦型	「知識・理解」「主体性・協働性」を中心に、個人面接で判定を行う際の資料として活用する。
推薦書	学校推薦型	「知識・理解」「主体性・協働性」を中心に、個人面接で判定を行う際の資料として活用する。

(2) 選抜に活用する内容の重点評価項目

入学者選抜方法	該当選抜区分	知識・理解	技能	思考力・判断力・表現力	関心・意欲・態度	主体性・協働性
大学入学共通テスト	一般（前期）	○		○		
	一般（後期）					
個別学力検査 〈教科〉	一般（前期）	○		○		
小論文	一般（後期）	○		○	○	○
	学校推薦型					
個人面接	一般（前期）・音楽 一般（前期）・美術 一般（前期）・保健体育	○		○	○	
	学校推薦型	○	○（*）	○	○	
実技検査	一般（前期）・音楽 一般（前期）・美術 一般（前期）・保健体育		○	○	○	
	学校推薦型・美術 学校推薦型・保健体育					
志願者評価書	一般（前期）					○
運動歴調査書	一般（前期）・保健体育 学校推薦型・保健体育		○			
出願理由書	学校推薦型			○	○	
調査書	学校推薦型	○				○

（*）中学校教育コース（英語）では「技能（英語の運用能力）」を評価する。

※一般選抜（前期日程），一般選抜（後期日程）においては調査書は，高大接続及び学力の3要素評価の観点から，総合判定の資料として活用します。

理工学部

1 学部概要

我が国が目指す未来社会で必要とされる情報リテラシーと確かな専門性を併せもち、地球環境問題をはじめとする国際社会ならびに地域社会が抱える諸課題の解決に貢献できる理工系人材を育成します。

2 入学者に求める資質

<理工学部・理工学科共通>

【知識・技能】

- ・ 高等学校卒業にふさわしい一般基礎学力を修得しているとともに、より広い教養と深い専門性を身に付けたいという意欲をもつ人
- ・ 理工学分野の専門の学修を始めるのに必要な知識と技能を獲得している人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・ 修得した知識と技能を組み合わせ、論理的な思考に基づく適切な判断ができるとともに、それを適切に他者に表現することができる人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

- ・ 自らが選択する専門分野の学修に、主体的に取り組もうとする人
- ・ 大学での学びのなかで、広く社会との関わりに関心をもち、積極的に多様な人々と協働しようとする人

<クリエイティブ情報コース（総合型選抜）>

【知識・技能】

- ・ 高等学校卒業にふさわしい一般基礎学力を修得しているとともに、情報デザインに強い関心をもつ人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・ 修得した知識と技能を組み合わせ、創造的な思考・判断ができるとともに、それを他者に表現することができる人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

- ・ 情報や情報技術について学んだことを主体的に活用しようとする人
- ・ 多様な価値観を理解し、様々な分野の人と協働しようとする人

<データサイエンス応用オープンクラス（一般選抜・前期）>

【知識・技能】

- ・ 高等学校卒業にふさわしい一般基礎学力を修得しているとともに、データサイエンスに強い関心を持つ人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・ 修得した知識と技能を組み合わせ、創造的な思考・判断ができるとともに、情報系技術を活用してそれらを表現することができる人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

- ・ データサイエンスについて学んだことを主体的に活用しようとする人
- ・ 多様な価値観を理解し、様々な分野の人と協働しようとする人

<地域協創ものづくりプログラム（総合型選抜）>

【知識・技能】

- ・ 工学を学ぶために必要な基礎的な学力を持つ人
- ・ ものづくりに対する経験をもつ人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・ ものづくりを実践するために必要な思考力と判断力をもつ人
- ・ ものづくりを実践するために必要なコミュニケーション能力をもつ人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

- ・ ものづくりに関心を持ち、独自技術を開発したいという意欲をもつ人
- ・ 地域課題に関心を持ち、主体性をもって協働できる人

<地域防災・まちづくりプログラム（総合型選抜）>

【知識・技能】

- ・ 防災・まちづくりに関する専門分野を学ぶうえで必要な基礎的な知識や技能を持つ人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・ 災害に強い社会の実現のために、防災・まちづくりの専門分野に関連する課題を発見・探求できるような豊かな思考力を持ち、広い視野で適切に判断できる力を持つ人
- ・ 周囲とコミュニケーションを円滑にとることができ、必要な相手に防災・まちづくりの専門分野に関連する様々な内容を正確に表現し、伝えることができる人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

- ・ 自然と調和しながらも災害に強い社会の構築のために、防災・まちづくりに関する様々な課題に関心を持ち、新しい課題を解決しようとする意欲を持つ人
- ・ 防災・まちづくりに関する様々な地域課題において、主体的に創造性豊かな発想ができ、マネジメント力を持つ人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・ 数学：「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」「数学B」「数学C」の内容の理解と数学的思考力（高等学校で修得していない科目がある場合は、入学後に理工学部が開講する高大連携科目の履修が必要となります。）
- ・ 理科：「化学基礎・化学」「物理基礎・物理」などの内容の理解と科学的思考力（化学コースへの進級を考えている方には、「生物基礎・生物」の内容も修得していることを期待します。）
- ・ 国語，英語：国際社会で活躍する人材の素養としての読解力，思考力，およびコミュニケーション能力
- ・ 情報：「情報Ⅰ」の内容の理解と情報活用能力
- ・ その他：教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史，倫理，政治経済，現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

4 入学者選抜の基本方針

(ア) 一般選抜（前期日程・後期日程）

入学後の教養教育・専門教育に対応できる知識とその展開力，および理工学部学生としての自然科学全般への俯瞰的視野を重視し，理科系・文科系にわたる幅広い知識と理数系に対する深い思考力および判断力を持つ人を総合的に選抜します。大学入学共通テストと個別試験で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，調査書による「主体性・協働性」の評価と総合して選抜します。なお，データサイエンス応用オープンクラスでは，大学入学共通テストにおける情報Ⅰの成績を重視します。

(イ) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

個別面接試験で主に「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」を評価し，「主体性・協働性」もあわせて総合的に評価します。選抜にあたっては専門分野への関心・意欲も重視します。

(ウ) 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

・ 地域協創ものづくりプログラム

第1次選考は書類選考を行います。提出された自己推薦書・志望理由書により，「思考力・判断力・表現力等の能力」および「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」といった本プログラムで学ぶにふさわしい基本的な素養を評価します。調査書では大学での勉学の基礎となる「知識・技能」を評価します。第2次選考は面接とプレゼンテーションを行います。個

人面接の口頭試問では「知識・技能」をより詳細に評価します。プレゼンテーションでは「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を重点的に評価するとともに「思考力・判断力・表現力等の能力」についても併せて評価します。

本選抜においては、工業に関する学科を卒業見込とする者も対象とし、各専門分野への強い関心と必要な基礎学力を持つとともに、「主体性のあるものづくり経験が豊富な学生」の受入を目的としています。

・ **地域防災・まちづくりプログラム**

第1次選考は、調査書および自己推薦書を基に評価します。第2次選考は、面接（口頭試問を含む）およびプレゼンテーションを基に評価します。第1次選考と第2次選考の2段階にわたって「適性・構想力・論理的な思考力」、「意欲および一定以上の基礎学力」と「主体性・協働性」を重点的に評価し、防災・まちづくりに対するこれまでの活動の経験・実績、または興味・関心事項などを基に「表現力・情報収集能力・コミュニケーション能力」を総合的に評価します。

(工) 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

プレゼンテーション試験では、提出された調査書とプレゼンテーションにより「関心・意欲」及び「主体性・協働性」について評価するとともに、クリエイティブ情報コースで学ぶにふさわしい「表現力・コミュニケーション能力」を重点的に評価します。学力検査では、大学入学共通テストにより、クリエイティブ情報コースで学ぶにふさわしい「知識・技能」を評価します。選抜は、プレゼンテーション試験と学力検査の結果を総合的に判断します。

(オ) 私費外国人留学生選抜

大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力試験等を免除し、日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

(カ) その他（第3年次編入学試験）

高等専門学校や短期大学理工系学部を卒業、または、大学の理工系学部などの教育機関に2年次まで就学し、さらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な学生を求めます。学力試験（英語（外部検定活用）、専門科目（筆記試験または口頭試問）または数学（筆記試験））および面接を総合して選抜します。なお機械知能航空コースでは在学中の成績の提出を求め、選考資料とします。

<別表>選抜に活用する選抜方法の内容とその評価項目

(1) 選抜に活用する選抜方法の内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
大学入学共通 テスト	一般（前期） 一般（後期） 総合型Ⅱ	筆記試験により「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」を評価 します。
個別学力検査	一般（前期） 一般（後期） 編入学試験	筆記試験により「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」を評価 します。
個人面接	編入学試験	志望理由等について面接を行い、提出書類に関する確認を行います。 理工系科学者・技術者として将来社会に貢献する意欲等も評価しま す。
個人面接 (口頭試問を含む)	学校推薦型 総合型Ⅰ 編入学試験	面接および口頭試問により志望理由を確認するとともに、基礎学力 を評価します。編入学試験においては、専門分野の学修に必要とさ れる専門知識を評価します。
プレゼンテーション	総合型Ⅰ 総合型Ⅱ	出題された課題に対するプレゼンテーションを通して、志望する コースやプログラムに対する「関心・意欲」「思考力・判断力」「表 現力・コミュニケーション能力」「主体性・創造性・協働性」を総合 的に評価します。
日本留学試験	私費外国人留学生	日本語に関する基礎的能力を含めて「知識・技能」「思考力・判断 力」「表現力」を評価します。
出願理由書・ 志望理由書	学校推薦型 総合型Ⅰ 私費外国人留学生	志望理由が、入学者受入の方針に合致しているかを評価します。
推薦書・ 自己推薦書	学校推薦型 総合型Ⅰ	専門の学修に対する適性と意欲について総合的に評価します。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 学校推薦型 総合型Ⅰ 総合型Ⅱ	「主体性・協働性」について評価するとともに、総合判定の資料とし て活用します。
成績証明書・ 調査書	編入学試験 (機械知能航空コースのみ)	基礎学力を確認するために、成績証明書と調査書を用い、高等専門 学校や短期大学等での生活状況（特別活動・指導上の参考となる諸 事項等）を併せて総合的に評価します。
TOEIC Listening& Reading Test	編入学試験	英語の学力を評価します。

(2) 選抜に活用する選抜方法の重点評価項目（入学者選抜方法と求める学生像との関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	知識・技能	思考力・判断力	表現力	関心・意欲	主体性・協働性
大学入学共通 テスト	一般（前期） 一般（後期） 総合型Ⅱ	◎	○			
個別学力検査	一般（前期） 一般（後期） 編入学試験	◎	○			
個人面接	編入学試験			○	◎	○
個人面接 (口頭試問を含む)	学校推薦型 総合型Ⅰ 編入学試験	◎	○	○	◎	○
プレゼンテーション	総合型Ⅰ		◎	◎	○	○
	総合型Ⅱ		◎	◎	◎	◎
出願理由書・ 志望理由書・ (自己)推薦書	学校推薦型			○	◎	○
	総合型Ⅰ				◎	○
	私費外国人留学生				◎	○
日本留学試験	私費外国人留学生	◎	○			
調査書	一般（前期）					
	一般（後期）					
	学校推薦型	○	○	○	○	◎
	総合型Ⅰ 総合型Ⅱ					
成績証明書・ 調査書	編入学試験 (機械知能航空コースのみ)	◎	○			○
TOEIC Listening& Reading Test	編入学試験	◎				

農学部

1 学部概要

農学部は、幅広く深い教養と豊かな人間性を基礎として、農学の基盤である「食料」「生命」「環境」分野における、基礎的・応用的・統合的な専門知識と技能を修得することにより、地域および国際社会の食料・生命・環境の諸問題の解決に貢献できる人材の養成を目的としています。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《学部共通》

(1) 知識・技能・理解

- ・ 農学の基盤である「食料」「生命」「環境」分野を学ぶに相応しい基礎学力を有する人

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・ 農学分野に関する諸問題を全体的な視点から見出し、論理的にとらえ、探求する思考力と自らの意見をまとめ表現する能力を有する人

(3) 関心・意欲・態度

- ・ 学びで得た知識や経験、理論や技術を、明確な目的をもって農学および現実社会の諸課題の解決に生かす意欲のある人

(4) 主体性・協働性

- ・ 農学分野に関する諸課題を主体的に学ぶ積極性を持つとともに、創造性豊かな発想をもとに協働して学ぶことのできる人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《学部共通》

- ・ 理科，数学，情報：内容の理解と応用力
- ・ 英語，国語：基礎的な読解力，表現力，文章力
- ・ 地歴・公民：基礎的内容の理解

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針 《学部共通》

(1) 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別学力検査で「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。大学入学希望理由書で「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

(2) 一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

(3) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

小論文試験で「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を、調査書で「知識・技能・理解」を中心に総合的に評価します。

(4) 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

大学入学共通テストで「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価し、調査書で「知識・技能・理解」を中心に総合的に評価します。

(5) 私費外国人留学生選抜

日本留学試験で、日本語力を含めて「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

【食料農学科】

1 学科概要

食料農学科では、人類の生存基盤である食料の生産とそれを基にした食品に関わる知識と技術の教育と研究を行い、地域・国際社会での食料生産、食品供給、健康分野における課題解決や新

しい価値の創出を通じて、健康で持続的な食料と食品の生産・供給を担う人材を育成します。

2 コース概要

<農学コース>

農学コースでは、農作物の栽培技術の高度化とその生産基盤となる土壌の保全、植物の生産性・機能性の向上、品種開発、植物ウイルスを利用した先端技術の開発、食料安全保障を支える政策・戦略などに関わる教育・研究を通じて、持続的な食料生産のため農業および食品産業の問題解決に貢献できる人材を育成します。

<食品健康科学コース>

食品健康科学コースでは、食材や食品、その成分の物理的・化学的特性、高度な食品加工に関する知識や技術、食品、栄養および天然資源の健康機能性などに関わる教育・研究を通じて、国内外の食品産業の発展や超高齢社会において食を通じた人の健康に寄与できる科学的な知識と広い視野を備えた人材を育成します。

3 入学者に求める資質（求める学生像）

<農学コース>

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 農学および農学を取り巻く学問体系を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 農作物や農業生物を有益な資源として生かすために技術を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 持続的な食料の安定生産・供給を実現するための戦略・論理・技術を学ぶ意欲のある人
- ・ グローバルな視点から、農業および食品産業の抱える諸問題の解決に積極的に取り組む意欲のある人

<食品健康科学コース>

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 食品素材の特性の解明と応用を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 食品・栄養成分の体内での動きの解明とその健康への関わりを学ぶのに相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 健康と食品機能について専門的知識を修得する意欲のある人
- ・ 食品・栄養成分、天然資源の化学的特性と生体利用の解明について専門的知識を修得する意欲のある人
- ・ 食や健康に関する課題に対応した高度な食品加工に関する知識と技術を修得する意欲のある人

【生命科学科】

1 学科概要

生命科学科では、生命科学、すなわち植物学・動物学・微生物学・健康科学など様々な学問の基礎的かつ共通部分における分子レベルでの知識と理解をベースに、様々な問題を解決し教育に展開することで、地球環境問題の解決、種の多様性の次世代への保存、健康寿命の延長など、次世代の諸問題の解決を先導できる人材を育成します。

2 コース概要

<分子生物機能学コース>

分子生物機能学コースでは、微生物、植物、昆虫、動物など様々な生き物の細胞や個体レベルで見られる多種多様な生物機能に関する分子レベルの解明を教育に還元することで、自ら発想し行動する力、独創性ならびに柔軟な対応力を養成し、グローバル化する社会でその力を発揮できる、自律性や判断力を持つ人材の養成を行います。

<分子生命医科学コース>

分子生命医科学コースでは、微生物から動物、ヒトに至るまでの生命現象を分子レベルで解

明し、その知見を健康衛生、疾病の予防、再生医療技術などに生かし、人々の生活の質向上に寄与できる人材を育成します。

3 入学者に求める資質（求める学生像）

<分子生物機能学コース>

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 微生物、植物、昆虫、動物などの生物機能を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 生物機能の分子レベルでの解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 生物機能に関する知識を修得し、実験、研究科目を学ぶ中で、自ら発想し行動できる人
- ・ 教育成果をベースにバイオテクノロジーのフロンティアを築くことができる人

<分子生命医科学コース>

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 生物多様性の重要性、感染症や疾患、老化現象を分子レベルで学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 生命現象の分子レベルで解明と応用を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 健康衛生、疾病の予防、再生医療技術などに生かし、人々の生活の質向上に寄与できる人
- ・ 生命科学に関わる諸問題に取り組み、活躍することができる人

【地域環境科学科】

1 学科概要

地域環境科学科では、持続可能な食と農の科学、地域生態系の保全、森林資源の管理と持続的な利用、持続的農業生産と環境管理、農業インフラの整備、スマート農業システムの導入、グリーン・トランスフォーメーションについて、地球環境問題とSDGs達成を念頭に置いた教育を介して、未来の農林業を担う人材を育成します。

2 コース概要

<革新農業コース>

革新農業コースでは、農業と食を切り拓く革新的な農業技術について総合的に学びます。これをもとに、グローバルな視点と高度な専門知識を備えて地域農業を先導するとともに、持続可能な食料・農業・農村システムの実現に向けた取り組みを通じてSDGs達成に貢献できる人材を育成します。

<森林科学コース>

森林科学コースでは、東北地域の恵まれた自然環境を背景として、森林の持つ多様な環境保全機能や樹木資源の生産と利用、自然生態系の保全・管理、防災を含めた幅広い分野について総合的に学びます。これをもとに、自然との共生関係を築きながら発展できる地域社会の実現に貢献する人材を育成します。

3 入学者に求める資質（求める学生像）

<革新農業コース>

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 農業生産インフラ整備と農村環境の保全、地域のネットワークづくりを学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- ・ スマート農業、次世代型食料システムの創出に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 地域資源の適切な利用・管理と農村環境の保全、および地域振興について多面的に学ぶ意欲のある人
- ・ スマート農業、持続的な食料供給システムと資源の有効利用に関する最新技術を学ぶ意欲のある人

＜森林科学コース＞

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 森林科学を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 多様な機能を活かした森づくりと利用・保全に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 多様な機能を発揮できる森づくりと林産資源の利用に必要な知識と技術を学ぶ意欲のある人
- ・ 里地里山を含む地域生態系の保全と管理および防災の方策について学ぶ意欲のある人

【動物科学・水産科学科】

1 学科概要

動物科学・水産科学科では、畜産物および水産物の生産と供給を担う2つの産業基盤を背景とした教育・研究を行うとともに、野生動物や海洋生物の生理・生態とそれらの有益な利用方法に関する知識および技術の教育・研究を行い、動物・水産資源の安定的な生産と供給、その高度利用に貢献する人材を育成します。

2 コース概要

＜動物科学コース＞

動物科学コースでは、産業動物生産（畜産）と野生動物の保護・管理に関する知識および技術に関する教育・研究を基盤とし、産業動物を中心に様々な動物種における生理機能の解明、遺伝的改良と増殖、飼料生産と栄養・飼養、および動物資源の有効利用などを通じて、人と動物が共生する豊かな地域社会の創造に資する人材を育成します。

＜水産システム学コース＞

水産システム学コースでは、水産業に関わる基礎的な知識や技術に関する教育・研究を基盤とし、水産資源の生産（漁獲、増養殖）から、加工、流通にいたる一連のシステムを体系的に教育し、釜石キャンパスを活用することで、三陸沿岸域の水産業の復興、わが国の水産業成長産業化に寄与できる人材を育成します。

3 入学者に求める資質（求める学生像）

＜動物科学コース＞

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 動物生産および動物科学に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人
- ・ 生命現象の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 動物科学への強い関心を有し、課題の探求と解決に取り組む意欲のある人
- ・ 動物に関連した産業の諸問題の探求と解決に取り組む意欲のある人
- ・ グローバルな視点から、動物に関連した産業の持続的発展に積極的な意欲を有する人

＜水産システム学コース＞

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 水産資源の管理・生産、その利活用、流通・販売に関する学問領域を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 日本と世界の水産業の持続的発展の問題解決に必要な基礎的な思考・判断力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 三陸地域の社会と水産業に関心をもち、東日本大震災からの復興と水産業の課題に取り組む意欲のある人
- ・ 日本と世界の水産業の持続的発展の諸課題に関心をもち、問題解決に取り組む意欲のある人
- ・ 高い倫理観をもち、持続的水産業構築の諸課題について積極的に携わる態度を備えた人

<別表>選抜に活用する評価方法とその評価項目

(1) 選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
小論文	学校推薦型 編入学	文章を客観的に読解把握する力，内容に対する自らの考え方を述べる力，農学に関連する基礎学力について評価します。
個人面接	一般（後期） 学校推薦型 総合型Ⅱ 私費外国人留学生	複数の面接担当者による個人面接を行います。
個人面接 (口頭試問を含む)	編入学	複数の面接担当者による個人面接を行います。また，基礎学力を確認するために，口頭試問を行います。
出願理由書	学校推薦型 総合型Ⅱ 私費外国人留学生	出願時に入学を希望する理由を本人が記入し，面接時に評価します。
調査書*	学校推薦型 総合型Ⅱ 編入学	学習の記録を中心に総合的に評価します。
大学入学希望 理由書	一般（前期）	個別試験会場にて入学を希望する理由を本人が記入し，大学で農学を学ぶ意欲について評価します。

(2) 選抜に活用する内容の重点評価項目

入学者選抜方法	該当選抜区分	知識・技能・理解	思考力・判断力・表現力	関心・意欲・態度	主体性・協働性
大学入学共通 テスト	一般（前期） 一般（後期） 総合型Ⅱ	○	○		
個別学力検査 <教科>	一般（前期）	○	○		
小論文	学校推薦型 編入学	○	○		
個人面接	一般（後期） 学校推薦型 総合型Ⅱ 私費外国人留学生		○	○	○
個人面接 (口頭試問を含む)	編入学	○	○	○	○
出願理由書	学校推薦型 総合型Ⅱ 私費外国人留学生			○	○
調査書*	学校推薦型 総合型Ⅱ 編入学	○		○	○
日本留学試験	私費外国人留学生	○	○		
大学入学希望 理由書	一般（前期）			○	○

*一般選抜（前期日程），一般選抜（後期日程）においては，調査書は，高大接続及び学力の3要素評価の観点から，総合判定の資料として活用します。

獣医学部

1 学部概要

獣医師は人類と動物の健康と福祉に貢献するという理念に基づき、高度獣医療の提供、人類の健康と食の安全、生命科学研究の発展に活躍できる国際的な視野を持つ人材を育成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 獣医学を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 動物の生命現象と病態に関する課題を探求し、グローバルな視野から論理的に解決する思考力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 動物の生命現象と病態に関心を持ち、それを継続して探求しようとする意欲のある人
- ・ 自己を啓発し実行力に優れ、獣医学の発展ならびに社会に貢献しようとする意欲のある人
- ・ 獣医師として、国際的な交流・協力を推進し、世界に学び世界に貢献しようとする意欲のある人

3 地域枠入試で求める学生像

上記の入学者に求める資質に加え、卒業後に産業動物獣医師に就業する明確な意思を持ち、産業動物獣医師として地域社会の発展に貢献する意欲のある人を求めます。

4 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・ 理科，数学，情報：内容の理解と応用力
- ・ 英語，国語：基礎的な読解力，表現力，文章力
- ・ 地歴・公民：基礎的内容の理解

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

5 入学者選抜の基本方針

(1) 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別学力検査で「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。大学入学希望理由書で「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

(2) 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

大学入学共通テストで「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価し、調査書で「知識・技能・理解」を中心に総合的に評価します。

(3) 私費外国人留学生選抜

日本留学試験で、日本語力を含めて「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

<別表>選抜に活用する評価方法とその評価項目

(1) 選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
個人面接	総合型Ⅱ 私費外国人留学生	複数の面接担当者による個人面接を行います。加えて総合型Ⅱでは、当日提示される課題に対して自らの考えを説明する面接を行います。
出願理由書	総合型Ⅱ 私費外国人留学生	出願時に入学を希望する理由を本人が記入し、面接時に評価します。
調査書*	総合型Ⅱ	学習の記録を中心に総合的に評価します。
大学入学希望理由書	一般（前期）	個別試験会場にて入学を希望する理由を本人が記入し、大学で獣医学を学ぶ意欲について評価します。

(2) 選抜に活用する内容の重点評価項目

入学者選抜方法	該当選抜区分	知識・技能・理解	思考力・判断力・表現力	関心・意欲・態度	主体性・協働性
大学入学共通テスト	一般（前期） 総合型Ⅱ	○	○		
個別学力検査<教科>	一般（前期）	○	○		
個人面接	総合型Ⅱ 私費外国人留学生		○	○	○
出願理由書	総合型Ⅱ 私費外国人留学生			○	○
調査書*	総合型Ⅱ	○		○	○
日本留学試験	私費外国人留学生	○	○		
大学入学希望理由書	一般（前期）			○	○

*一般選抜（前期日程）においては、調査書は、高大接続及び学力の3要素評価の観点から、総合判定の資料として活用します。

なお、総合型選抜Ⅱで第1段階選抜を行う場合は、出願理由書、調査書をアドミッション・ポリシーに照らして総合的に評価します。

Ⅱ 募集人員

学部	学科・課程等		入学定員	募集人員					備考		
				一般選抜		学校推薦型選抜	総合型選抜				
				前期日程	後期日程		I	II		私費外国人留学生選抜	
人文社会科学部	人間文化課程		125	63	22	40			若干名		
	地域政策課程		75	43	12	20			若干名		
	計		200	106	34	60			若干名		
教育学部	学校教育課程 学校教育教員養成課程	小学校教育コース	88	48	15	25				※1 数学サブコース及び理科サブコースの学校推薦型選抜の入学者は、「小学校教育専修」に所属することになります。	
		中学校教育コース	国語サブコース		5						
			社会サブコース		5						
			英語サブコース	29	5		3				
			音楽サブコース		3						
			美術サブコース		2		1				
		保健体育サブコース		3		2					
	理数教育コース	数学サブコース	32	12		*1 5					
理科サブコース			10		*1 5						
	特別支援教育コース	11	5	2	4						
	計	160	98	17	45						
理工学部	理工学科 ※2	化学クラス		38	12	10			若干名	※2 クラスは初年次教育における括りです。(入学後のコース・プログラム等の選択についてはP29を参照) ※3 総合型選抜IIの入学者は、クリエイティブ情報コースに進級します。 ※4 地域協創ものづくりプログラムの募集人員となります。 ※5 地域防災・まちづくりプログラムの募集人員となります。	
		数理・物理クラス		22	4	4			若干名		
		材料科学クラス		29	9	7			若干名		
		情報系クラス	知能情報コース	414	35	12	8		*3 5		若干名
			クリエイティブ情報コース								
		電気電子・情報通信クラス		37	12	10	*4 5		若干名		
		機械知能航空クラス		48	15	15			若干名		
		社会基盤・環境工学クラス		33	5	20	*5 5		若干名		
		データサイエンス応用オープンクラス		14							
計	414	256	69	74	10	5	若干名				
農学部	食料農学科	農学コース	50	20	3	4		3	若干名		
		食品健康科学コース		13	2	3		2	若干名		
	生命科学科	分子生物機能学コース	51	17	3	3		2	若干名		
		分子生命医科学コース		17	5	2		2	若干名		
	地域環境科学科	革新農業コース	70	21	4	7		5	若干名		
		森林科学コース		20	3	7		3	若干名		
	動物科学・水産科学科	動物科学コース	55	23	3	9			若干名		
水産システム学コース			10	3	5		2	若干名			
	計	226	141	26	40		19	若干名			
獣医学部	共同獣医学科		30	20				*6 10	若干名	共同獣医学科の修業年限は、6年で す。 ※6 （総合型選抜II 募集人員内訳 一般枠 8 地域枠 2）	
	計		30	20				10	若干名		
合計			1,030	621	146	219	10	34	若干名		

- ・教育学部の入学定員は学校教育教員養成課程160名ですが、入学定員欄にはコース毎の募集人員計を表示しています。
- ・学校推薦型選抜及び総合型選抜の合格者が募集人員に満たない場合、その欠員補充は一般選抜で行います。

Ⅲ 入学者選抜方法等

1 一般選抜

学部	選抜方法等 日程・学科・課程等		個別学力検査等				個別学力検査等の日程			
			個別学力検査を課す	実技検査等				2段階選抜		
				実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す				
人文社会科学部	前期	人間文化課程 地域政策課程	○	×	×	×	×	2月25日(火)		
	後期	人間文化課程 地域政策課程	×	×	×	○	×	3月12日(水)		
教育学部	前期	学校教育課程 養成課程	小学校教育コース	○	×	×	×	×	2月25日(火)	
			国語サブコース	○	×	×	×			
			社会サブコース	○	×	×	×			
			英語サブコース	○	×	×	×		2月26日(水)	
			音楽サブコース	×	○	○	×			
			美術サブコース	×	○	○	×			
			保健体育サブコース	×	○	○	×			
	理数教育コース	○	×	×	×	2月25日(火)				
	理科サブコース	○	×	×	×					
	特別支援教育コース	○	×	×	×	3月12日(水)				
後期	学教課 教員養成 育成課程	小学校教育コース	×	×	×		○	×		
		特別支援教育コース	×	×	×		○			
理工学部	前期	理工学科	化学クラス	○	×	×	×	×	2月25日(火)	
			数理・物理クラス							
			材料科学クラス							
			情報系クラス							
			電気電子・情報通信クラス							
			機械知能航空クラス							
			社会基盤・環境工学クラス							
	データサイエンス応用オープンクラス									
	後期	理工学科	化学クラス	○	×	×	×	×	3月12日(水)	
			数理・物理クラス							
材料科学クラス										
農学部	前期	食料農学科	農学コース	○	×	×	×	×	2月25日(火)	
			食品健康科学コース							
			分子生物機能学コース							
			分子生命医科学コース							
			地域環境科学科							革新農業コース
	森林科学コース									
	後期	食料農学科	動物科学・水産科学科	動物科学コース	×	×	○	×	×	3月12日(水)
			水産システム学コース							
			食料農学科	農学コース						
			食品健康科学コース							
生命科学科			分子生物機能学コース							
分子生命医科学コース										
後期	地域環境科学科	革新農業コース	×	×	○	×	×	3月12日(水)		
		森林科学コース								
		動物科学科							動物科学コース	
		水産システム学コース								
獣医学部	前期	共同獣医学科	○	×	×	×	×	2月25日(火)		

・各欄の○印は該当することを、×は該当しないことを表します。

2 学校推薦型選抜, 総合型選抜

学部	選抜方法等 学科・課程等		学校推薦型選抜			総合型選抜			備考					
			個別学力検査及び大学入学共通テストを免除する	実技検査等		I 個別学力検査を免除し、大学入学共通テストを課す	II 個別学力検査を免除し、大学入学共通テストを課す	私費外国人留学生選抜						
				実技検査を課す	面接を行う			小論文を課す		実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す		
人文社会科学部	人間文化課程		○	×	○	○	/	/	×	○	○			
	地域政策課程		○	×	○	○	/	/	×	○	○			
教育学部	学校教育課程 学校教員養成課程	小学校教育コース	○	×	○	○	/	/	/	/	/	/		
		中学校教育コース	国語サブコース	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
			社会サブコース	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
			英語サブコース	○	×	○	○	/	/	/	/	/	/	
			音楽サブコース	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
			美術サブコース	○	○	○	×	/	/	/	/	/	/	
		保健体育サブコース	○	○	○	×	/	/	/	/	/	/		
	理数教育コース	数学サブコース	○	×	○	○	/	/	/	/	/	/	数学サブコース及び理科サブコースの学校推薦型選抜の入学者は、「小学校教育専修」に所属することになります。	
	理科サブコース	○	×	○	○	/	/	/	/	/	/			
	特別支援教育コース	○	×	○	○	/	/	/	/	/	/			
理工学部	理工学科	化学クラス	○	×	○	×	/	/	×	×	×			
		数理・物理クラス	○	×	○	×	/	/	×	×	×			
		材料科学クラス	○	×	○	×	/	/	×	×	×			
		情報系クラス	知能情報コース	/	/	/	/	/	/	×	×	×		
			クリエイティブ情報コース	○	×	○	×	/	○	×	×	×		
		電気電子・情報通信クラス	○	×	○	×	*1○	/	×	×	×	*1 入学者は地域協創ものづくりプログラムの履修生となります。		
		機械知能航空クラス	○	×	○	×	/	/	×	×	×	*2 入学者は地域防災・まちづくりプログラムの履修生となります。		
社会基盤・環境工学クラス	○	×	○	×	*2○	/	×	×	×					
農学部	食料農学科	農学コース	○	×	○	○	/	○	×	○	×			
		食品健康科学コース	○	×	○	○	/	○	×	○	×			
	生命科学科	分子生物機能学コース	○	×	○	○	/	○	×	○	×			
		分子生命医科学コース	○	×	○	○	/	○	×	○	×			
	地域環境科学科	革新農業コース	○	×	○	○	/	○	×	○	×			
		森林科学コース	○	×	○	○	/	○	×	○	×			
	動物科学・水産科学科	動物科学コース	○	×	○	○	/	/	×	○	×			
水産システム学コース		○	×	○	○	/	○	×	○	×				
獣医学部	共同獣医学科		/	/	/	/	/	○	×	○	×			

・各欄の○印は該当することを，×は該当しないことを表します。

IV 一般選抜

1 個別学力検査実施方式

全学部とも分離・分割方式で実施します。

2 学内併願

本学を志願する者は、前期日程から一つ、後期日程から一つの合計二つの学部〔学科・課程（コース・クラス）〕又は同一の学部〔学科・課程（コース・クラス）〕に併願することができます。

3 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、「令和7年度大学入学共通テスト」で本学の指定する教科・科目のすべてを受験した者

- (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。以下同じ。）を卒業した者及び令和7年3月に卒業見込みの者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月に修了見込みの者
 - (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者（次のいずれかに該当する者）
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り、）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和7年3月31日までに合格見込みの者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含みます。）で、令和7年3月31日までに18歳に達する者
 - ⑥ 本学において、個別の出願資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7年3月31日までに18歳に達する者
- 注) ⑥の資格で出願しようとする者は、「X その他 3 個別の出願資格審査」の要領に従って申請してください。

4 出願期間及び合格発表日

日程	出願期間	合格発表日
前期日程	令和7年1月27日（月）から	令和7年3月6日（木）
後期日程	令和7年2月5日（水）まで	令和7年3月20日（木）

5 第2志望について

複数の分野の学修に興味を持っている受験者に広く進学機会を与えることを目的として、志望範囲を定めた上で第2志望を認め、それに基づく入学者選抜を行います。各学部における学科・課程等の志望範囲は、次のとおりです。

学 部	学 科 ・ 課 程 等 の 志 望 範 囲
人文社会科学部	<p>課程の志望は第1志望のみとします。</p> <p>なお、本学部は主副専修プログラム制を実施しており、人間文化課程と地域政策課程のいずれの課程に在籍しても、他課程のプログラムを含め幅広く学ぶことができます。</p>
教 育 学 部	<ol style="list-style-type: none"> 1 コース（又はサブコース。以下同じ。）の志望は、第2志望まで認めます。 2 第2志望のコースが課している大学入学共通テスト及び個別学力検査等を受験した者に、その第2志望を認めます。ただし、異種の実技検査を要するコースを第2志望とすることはできません。（※コースによって受験教科・科目が異なる場合がありますので、第1志望、第2志望いずれも必要な教科・科目を受験しているか十分確認してください。）
理 工 学 部	<ol style="list-style-type: none"> 1 学部内のすべてのクラスから第1志望クラスと第2志望クラスを選択することができます。なお、選考に当たっては、第1志望を重視します。 2 第2志望クラスが課している大学入学共通テスト及び個別学力検査等を受験した者に、その第2志望を認めます。 3 第2志望クラスの選考に当たっては、当該クラスの配点に基づいて得点を算出し選考します。
農 学 部	<p>学部内のすべてのコースの間での第2志望を認めますが、選考に当たっては、第1志望を重視します。</p>
獣 医 学 部	<p>1学科のため、第1志望のみとなります。</p>

※ 入学後のコース・プログラム等の選択について

○ 人文社会科学部

人文社会科学部の学生は入学後、自ら学びたいと考える主専修プログラム及び副専修プログラムを2年次前期末に選択します。

主専修プログラムは、所属課程の専修プログラムから選択し、副専修プログラムは、主専修プログラム以外の所属課程の専修プログラム、他課程の専修プログラム、副専修専門プログラム、課程横断型プログラムから選択することになります。

●人間文化課程専修プログラム

国際文化 日本文化 現代社会共創 人間行動

●地域政策課程専修プログラム

政策法務 企業法務 地域社会経済 地域環境

●副専修専門プログラム

地域社会連携

●課程横断型プログラム

グローバル・地域人材育成

○ 教育学部

小学校教育コースの学生は、1年次後期からサブコースに所属し、各カリキュラムを履修することになります。サブコースは、国語、社会、英語、音楽、美術、保健体育、教育学、心理学、情報教育学、特別支援教育の10分野です。(小学校教育コースから数学及び理科サブコースに所属することはできません。)サブコースへの所属は各自の志望を優先しますが、人数の調整をすることがあります。

理数教育コースの学生は、入学者選抜の段階で所属するサブコース(理科あるいは数学)を決定します。また、学校推薦型選抜による入学者は小学校教育専修(小学校教員養成を主とする専修)となりますが、一般選抜による入学者は入学後一定期間を経て、学生の志望により小学校教育専修か中学校教育専修(中学校教員養成を主とする専修)を決定します。

○ 理工学部

2年進級時のコース配属において、条件を満たせば入学時クラスと異なるコース配属が可能であり、柔軟に進路を選択できます。(各コース配属人数に上限有り)

データサイエンス応用オープンクラスの学生は、2年次に希望の専門コースに進級することができます。選択した専門コースの教育プログラムに加えてデータサイエンス応用副プログラムを履修します。

地域協創ものづくりプログラム、地域防災・まちづくりプログラムでは、入学後、履修生を追加募集することがあります。

6 実施教科・科目及び配点等

教科・科目名の表記について

次ページ以降の各学部の表においては教科・科目名を次のように略記しています。

区 分	教科・科目名	教科・科目名の略記
大 学 入 学 共 通 テ ス ト	国語 『国語』 地理歴史, 公民 『地理総合, 地理探究』 『歴史総合, 日本史探究』 『歴史総合, 世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』 『公共, 倫理』 『公共, 政治・経済』 数学 『数学Ⅰ, 数学A』 『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 理科 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』 外国語 『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 情報 『情報Ⅰ』	国 国 地歴公民 「地総, 地探」 「歴総, 日探」 「歴総, 世探」 「地総/歴総/公」 「公, 倫」 「公, 政・経」 数 「数Ⅰ, 数A」 「数Ⅰ」 「数Ⅱ, 数B, 数C」 理 「物基/化基/生基/地基」 物 化 生 地 外 英 独 仏 中 韓 情 情報Ⅰ
個 別 学 力 検 査 等	国語 数学 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C 理科 外国語	国 数 数Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C 数Ⅰ・Ⅱ・A・B・C 理 外

大学入学共通テストにおける1つの出題科目の中で複数の出題範囲を選択解答する科目について

次ページ以降の各学部の表における以下の科目については、2出題範囲の受験で他の教科・科目の1科目とみなします。

教 科	科 目
地 理 歴 史, 公 民	『地理総合/歴史総合/公共』
理 科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』

(1) 人文社会科学部

学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等														
	日程	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地公民	歴史	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	実技	計	合計点	
人間文化課程 地域政策課程	前期	国	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」から1 「地総/歴総/公」 「公、倫」、「公、政・経」から1 「教I、教A」、「教I」から1 「教II、教B、教C」から1 「物基/化基/生基/地基」から1 物、化、生、地 情報I 英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1 [6教科7科目又は7教科7科目]	国 外	現代の国語、言語文化 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ [2教科2科目]	共通	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	100	200	50					850	1450
		教			個別	300						300						600	
	後期	国	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 「地総/歴総/公」 「公、倫」、「公、政・経」 「教I、教A」、「教I」 「教II、教B、教C」から1 「物基/化基/生基/地基」 物、化、生、地 情報I 英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1 [4教科4科目]	その他	小論文	共通	200	0 又は 100	0 又は 100	0 又は 100	0 又は 200	0 又は 100		300			300	900	

備考

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

(注1) 前期日程の選択教科・科目で、「地理歴史」・「公民」から2科目を受験した場合は、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の成績を必ず利用し、残りの2科目は「地理歴史」・「公民」の第2解答科目及び「数学」2科目の中から高得点の2科目の成績を利用します。

(注2) 前期日程の選択教科・科目で、「理科」から複数科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を利用します。

(注3) 後期日程の選択教科・科目で、「地理歴史」・「公民」・「数学」・「理科」及び「情報」から3科目以上を受験した場合は、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目、「理科」の第1解答科目、及び「情報」の中から高得点の2科目を利用します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

・ 大学入学共通テストの「英語」は、リーディング(100点満点)を120点満点に、リスニング(100点満点)を80点満点にそれぞれ換算後、合計した得点を利用します。

・ なお、リスニングを免除された者についてはリーディングを200点満点に換算した成績を利用します。また、「英語」以外の科目を受験した者については、筆記試験(200点満点)の成績をそのまま利用します。

・ 調査書は、総合判定の資料とします。

(2) 教育学部

学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
	日程	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地公	歴史	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	実技	計	合計点
小学校教育コース	前期	国 数 地理 公民	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」 「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」から1 「地総/歴総/公」 「公、倫」、「公、政・経」から1 「物基/化基/生基/地基」 物、化、生、地	現代の国語、言語文化 (数Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C)、 (数Ⅰ・Ⅱ・A・B・C) から1 (物理基礎・物理)、 (化学基礎・化学)、 (生物基礎・生物) から1 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ [2教科2科目]	共通	200	100 又は 200	100 又は 200	200	100 又は 200	200	200	50				950	1350
	後期	外情	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目又は7教科8科目]	その他 小論文	個別	*200				*200				400			400	1350
中学校教育コース 学校養成 教員課程	前期	国 数 地理 公民	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」 「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」から1 「地総/歴総/公」 「公、倫」、「公、政・経」から1 「物基/化基/生基/地基」 物、化、生、地	現代の国語、言語文化 (数Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C)、 (数Ⅰ・Ⅱ・A・B・C) から1 (物理基礎・物理)、 (化学基礎・化学)、 (生物基礎・生物) から1 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ [2教科2科目]	共通	200	100 又は 200	100 又は 200	200	100 又は 200	200	200	50			950	1350	
	前期	理外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ	その他 実技検査 個人面接	共通	200	100 又は 200	100 又は 200	200	200	200	200	50			950	1350	
	前期	理外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ	その他 実技検査 個人面接	個別	*200				*200				40	360 (注4)		400	1350
	前期	理外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ	その他 実技検査 個人面接	共通	200	100 又は 200	100 又は 200	200	200	200	200	200	50			950	1350
	前期	理外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目又は7教科8科目]	その他 実技検査 個人面接	個別	*200				*200					100	300	400	1350
理数教育コース	前期	国 数 地理 公民	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」 「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」から1 「地総/歴総/公」 「公、倫」、「公、政・経」 「物基/化基/生基/地基」 物、化、生、地	現代の国語、言語文化 (数Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C)、 (数Ⅰ・Ⅱ・A・B・C) から1 (物理基礎・物理)、 (化学基礎・化学)、 (生物基礎・生物) から1 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ [2教科2科目]	共通	200	100 又は 200	100 又は 200	200	200	200	200	50			950	1350	
	前期	理外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目]	その他 実技検査 個人面接	個別	*200				*200					100	300	400	1350

学科等名	大学入学共通テストの科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
	日程	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地公民	歴史	数学	理科	外国語	情報	面接	実技	合計点
学校教育 特別支援 教育 教員養成 課程	前期	国 数 地歴 公民	国 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」 「地誌、地探」、「歴史、日探」、 「歴史、世探」から1 「地誌/歴史/公民」 「公、倫」、「公、政・経」から1 「物基/化基/生基/地基」 物、化、生、地	国 数 理 外 その他	現代の国語、言語文化 (数Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C)、 (数Ⅰ・Ⅱ・A・B・C)から1 (物理基礎・物理)、 (化学基礎・化学)、 (生物基礎・生物)から1 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ [2教科2科目]	共通	200	100 又は 200	100 又は 200	200	200	50				950
	後期	理 外 情	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ		個別	*200	*200	*200	*200	*200						400
			[6教科8科目又は7教科8科目]			共通	200	100 又は 200	100 又は 200	200	200	50				950
					個別								400			400

備考

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

教科「理科」において、「基礎を付した科目」とは、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」を指し、「基礎を付していない科目」とは、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」を指します。
(注1)「基礎を付した科目」については、2出題範囲の受験で他の教科・科目の1科目とみなします。このため、「理科」の選択科目数と選択科目の組み合わせは、以下のア～エのいずれかになります。

ア 選択科目数1：「基礎を付した科目」から2出題範囲を選択

イ 選択科目数1：「基礎を付していない科目」から1科目を選択

ウ 選択科目数2：「基礎を付した科目」から2出題範囲かつ「基礎を付していない科目」のうちから選択した出題範囲と同じ名称を含む「基礎を付していない科目」を選択しても構いません。

エ 選択科目数2：「基礎を付していない科目」から2科目を選択

(注2)「地理歴史」、「公民」から2科目、「理科」から2科目を受験した場合は、下記ア、イのうち、いずれか高得点の組み合わせを利用します。

ア 「地理歴史」、「公民」の2科目と「理科」の第1解答科目

イ 「地理歴史」、「公民」の第1解答科目と、「理科」の2科目

- ・ 理数教育コースにおいては、「地理歴史」、「公民」から2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

・ 小学校教育コースに入学期後、英語サブコースへ所属を希望する者は、「外国語」を受験しておくことが望ましい。

・ 数学Aの出題範囲は、「図形の性質」、「場合の数と確率」とします。

・ 数学Bの出題範囲は、「数列」とします。

・ 数学Cの出題範囲は、「ベクトル」とします。

(注3) 中学校教育コース(国語、英語サブコース)及び理数教育コース(数学、理科サブコース)においては、サブコースごとに個別学力検査の受験科目を以下のとおり指定します。

- ・ 国語サブコース受験者は、「国語」を含む2科目を受験すること。
- ・ 英語サブコース受験者は、「外国語」を含む2科目を受験すること。
- ・ 数学サブコース受験者は、「数学」の「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」を含む2科目を受験すること。
- ・ 理科サブコース受験者は、「理科」を含む2科目を受験すること。

なお、社会サブコース受験者は「国語」、「数学」、「理科」、「外国語」から2科目を選択して受験してください。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

・ 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表します。

・ 大学入学共通テストの「英語」は、リーディング(100点満点)、リスニング(100点満点)の合計得点を利用します。

なお、リスニングを免除された者についてはリーディングを200点満点に換算した成績を利用します。また、「英語」以外の科目を受験した者については、筆記試験(200点満点)の成績をそのまま利用します。

・ 志願者評価書は、総合判定の資料として評価します。

・ 調査書は、総合判定の資料として活用します。

(注4) 中学校教育コース音楽サブコースにおいては、実技の得点が180点に満たない場合は、総合得点に関わらず不合格になります。

(3) 理工学部

学科等名	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	調査書	計	合計点
理工学部	前期	国 地歴公民	「地総、地探」、「歴総、日探」から1 「歴総、世探」 「地総/歴総/公」、 「公、倫」、「公、政・経」	数 理 その他	数Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C 物理基礎・物理、化学基礎・化学から1 [2教科2科目] 調査書(注)	共通	200	100	200	200	200	20	10	920	1530
	前期	国 地歴公民	「地総、地探」、「歴総、日探」から1 「歴総、世探」 「地総/歴総/公」、 「公、倫」、「公、政・経」	数 理 その他	数Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C 物理基礎・物理、化学基礎・化学から1 [2教科2科目] 調査書(注)	共通	200	100	200	200	20	10	920	1530	
															後期
情報系 クラス	前期	国 地歴公民	「地総、地探」、「歴総、日探」から1 「歴総、世探」 「地総/歴総/公」、 「公、倫」、「公、政・経」	数 理 その他	数Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C 物理基礎・物理、化学基礎・化学から1 [2教科2科目] 調査書(注)	共通	200	100	200	200	50	10	950	1560	
															後期

学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
	日程	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地公民	数	学理	科外国語	情報	調査書	計	合計点
電気電子・情報通信クラス 機械知能航空クラス	前期	国 地歴公民	「地総、地探」、「歴総、日探」から1 「歴総、世探」、「地総/歴総/公」、 「公、倫」、「公、政・経」	数 理 その他	数Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C 物理基礎・物理、化学基礎・化学から1 [2教科2科目] 調査書(注)	共通	200	100	200	200	200	20		920	1530
	後期	数 理 外 情	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生から2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目]	数 理 その他	数Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C 物理基礎・物理、化学基礎・化学から1 [2教科2科目] 調査書(注)	共通	200	100	200	200	200	20		920	
データサイエンス応用 オープンクラス	前期	国 地歴公民	「地総、地探」、「歴総、日探」から1 「歴総、世探」、「地総/歴総/公」、 「公、倫」、「公、政・経」	数 理 その他	数Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C 物理基礎・物理、化学基礎・化学から1 [2教科2科目] 調査書(注)	共通	200	100	200	200	200	100		1000	1610
	後期	数 理 外 情	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生から2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目]	数 理 その他	数Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C 物理基礎・物理、化学基礎・化学から1 [2教科2科目] 調査書(注)	共通	200	100	200	200	200	10		610	

備考

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

・ 「地理歴史」、「公民」から2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

- ・ 数学Aの出題範囲は、「図形の性質」と「場合の数と確率」とします。
 - ・ 数学Bの出題範囲は、「数列」とします。
 - ・ 数学Cの出題範囲は、「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」とします。
- (注) 調査書により、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- ・ 大学入学共通テストの「英語」は、リスニング(100点満点)を160点満点に、リスニング(100点満点)を40点満点にそれぞれ換算後、合計した得点を利用します。
- ・ なお、リスニングを免除された者についてはリスニングを200点満点に換算した成績を利用します。また、「英語」以外の科目を受験した者については、筆記試験(200点満点)の成績をそのまま利用します。

(4) 農学部

学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
	日程	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地公	歴史	数学	理科	外国語	情報	大学入学希望理由書	面接	合計点
食料農学科 (農学コース、食品健康科学コース)	前期	国	「地総、地探」、「歴総、日探」から1 「歴総、世探」、「地総/歴総/公」、「公、倫」、「公、政・経」	数	数Ⅰ・Ⅱ・A・B・C	共通	200	100	200	200	200	200	50			950
		地歴公民														
生命科学科 (分子生物機能学コース、分子生命医科学コース)	後期	数	「数Ⅰ、数A」、「数Ⅰ」から1と 「数Ⅱ、数B、数C」	その他	[1教科1科目] 大学入学希望理由書	個別			*300	*300	*300			20		320
		理化														
地域環境科学科 (革新農業コース、森林科学コース)	後期	外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ	その他	個人面接	共通	200	100	200	200	200	200	50			950
		情														
動物科学・水産科学科 (動物科学コース、水産システム学コース)	後期		[6教科8科目]			個別									100	1050

備考

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄
・ 「地理歴史」、「公民」から2科目受験した場合、第1解答科目の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

- ・ 数学Aの出題範囲は、「図形の性質」、「場合の数と確率」とします。
- ・ 数学Bの出題範囲は、「数列」とします。
- ・ 数学Cの出題範囲は、「ベクトル」とします。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- ・ 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表します。
- ・ 大学入学共通テストの「英語」は、リーディング(100点満点)を160点満点に、リスニング(100点満点)を40点満点にそれぞれ換算後、合計した得点を利用します。
- ・ なお、リスニングを免除された者についてはリーディングを200点満点に換算した成績を利用します。また、「英語」以外の科目を受験した者については、筆記試験(200点満点)の成績をそのまま利用します。
- ・ 調査書は、総合判定の資料とします。
- ・ 個人面接では、農学部アドミッション・ポリシーに適合するかなどを総合的に評価します。面接での評価が著しく低い場合は、総得点に関わらず不合格とすることがあります。

(5) 獣医学部

学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
	日程	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴公民	数学科	理科	外国語	情報	面接	合計点
共同獣医学部	前期	国	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 「地総/歴総/公」、 「公、倫」、「公、政・経」	数 理 外 情 [6教科8科目]	数Ⅰ・Ⅱ・A・B・C 物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物 から1 [2教科2科目] その他 大学入学希望理由書	共通	200	100	200	200	200	50		950
		数 理 外 情	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生から2 英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ						200	200			20	420
														1370

備考

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

・ 「地理歴史」、「公民」から2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

- ・ 数学Aの出題範囲は、「図形の性質」、「場合の数と確率」とします。
- ・ 数学Bの出題範囲は、「数列」とします。
- ・ 数学Cの出題範囲は、「ベクトル」とします。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- ・ 大学入学共通テストの「英語」は、リスニング(100点満点)を160点満点に、リスニング(100点満点)を40点満点にそれぞれ換算後、合計した得点を利用します。
- ・ なお、リスニングを免除された者についてはリーディングを200点満点に換算した成績を利用します。また、「英語」以外の科目を受験した者については、筆記試験(200点満点)の成績をそのまま利用します。
- ・ 調査書は、総合判定の資料とします。

(6) 旧教育課程履修者に対する経過措置について

令和7年度岩手大学入学者選抜における高等学校の旧教育課程履修者に対する経過措置は、以下のとおりです。

① 大学入学共通テストにおける経過措置に対する本学の対応

本学各学部で指定する大学入学共通テストの受験を要する教科・科目について、旧教育課程履修者は、下記のとおり対応する旧教育課程の科目を受験できるものとする。

学部	大学入学共通テストで 受験を要する科目	対応する旧教育課程の科目
全学部共通	『地理総合，地理探究』， 『歴史総合，日本史探究』， 『歴史総合，世界史探求』， 『地理総合／歴史総合／公共』， 『公共，倫理』， 『公共，政治・経済』	地理 歴史 『旧世界史A』，『旧世界史B』， 『旧日本史A』，『旧日本史B』， 『旧地理A』，『旧地理B』
		公民 『旧現代社会』，『旧倫理』， 『旧政治・経済』， 『旧倫理，旧政治・経済』
	ただし，人文社会科学部および教育学部の 地理歴史・公民2科目受験者については， 地理歴史から1科目，公民から1科目とす ること。	
	『数学Ⅰ，数学A』	『旧数学Ⅰ・旧数学A』
	『数学Ⅰ』	『旧数学Ⅰ』
『数学Ⅱ，数学B，数学C』	『旧数学Ⅱ・旧数学B』，『旧数学Ⅱ』，『旧 簿記・会計』，『旧情報関連基礎』 ただし，教育学部，理工学部，獣医学部 は，『旧数学Ⅱ』を除く。	
『情報Ⅰ』	『旧情報』	

② 個別学力検査における経過措置

各教科・科目とも，旧教育課程履修者を考慮するものの，特別な経過措置はとらない。

③ 旧教育課程履修者

高等学校（中等教育学校の後期課程並びに特別支援学校の高等部を含む。）に令和4年4月に入学し，令和7年3月に卒業見込みの者以外の者。

7 実技検査等

実技検査は、教育学部の学校教育教員養成課程中学校教育コース音楽サブコース、美術サブコース、保健体育サブコースで行い、それぞれのサブコースの履修を続けるために必要な実技の能力について検査します。

なお、保健体育サブコースの場合は、「運動歴調査書」を資料として、サブコースに関わる特技についても検査します。

課程・サブコース	サブコース	日程	検査内容
学校教育教員養成課程 中学校教育コース	音楽サブコース	前期日程	1 聴音・・・12小節程度の単旋律書き取り 2 コールユーブンゲン第1巻，原書No.1 からNo.85のうちから当日1曲指定します。移動ド唱法または固定ド唱法のいずれかで歌ってください。[繰り返しは省略] 3 ピアノ練習曲「チェルニー40番」程度以上のエチュードを1曲，暗譜で演奏してください。曲目は出願時に申告してください。[繰り返しは省略] 4 自由選択課題 声楽，ピアノ，管楽器，弦楽器，打楽器の5つの分野から1つを選択し，それぞれ決められた課題を行います。課題は下記のとおりです。 声 楽・・・出願時に申告した任意の歌曲かアリアを1曲歌唱 ピアノ・・・出願時に申告した任意の楽曲1曲を演奏 [繰り返しは省略] 管楽器・・・出願時に申告した任意の楽曲1曲を演奏 弦楽器・・・出願時に申告した任意の楽曲1曲を演奏 打楽器・・・出願時に申告した任意の楽曲1曲を演奏 注1) 自由選択課題で選択した分野はあくまでも受験のための措置であり，入学後の専門領域を決定するものではありません。 注2) 声楽を選択する者で伴奏付きの楽曲を演奏する者は，出願時に，伴奏譜を提出してください。なお，伴奏者は本学が用意します。 注3) 管楽器，弦楽器及び打楽器を選択する者は，出願時に伴奏譜を提出してください。エチュードや無伴奏作品の場合は独奏譜を提出してください。なお，当日の試験の際は伴奏者なしで演奏してください。 注4) 声楽及びピアノを選択した者は暗譜で演奏してください。管楽器，弦楽器及び打楽器を選択した者は暗譜の必要はありません。 注5) ピアノ以外の楽器は，自分一人で持ち運びできるものを持参してください。 注6) 出願後の曲目変更は認めません。
	美術サブコース		1 デッサン（石膏像） （1）木炭 （2）鉛筆 ※ 出願時に，（1）又は（2）いずれかを選択してください。 2 面接
	保健体育サブコース		1 基礎運動能力試験・・・下記の5種目の試験を実施します。 （1）助走付き30m走 （2）5－10－15m折り返し走 （3）立ち三段跳び （4）メディシンボール投げ（後方）（男子：3kg，女子：2kg） （5）持久走（20mシャトルラン） 2 特技とする運動種目の成績・活動歴（運動歴調査書によります。） 3 面接

8 試験場

本学では、一般選抜において、下記のとおり試験場を設置します。

札幌試験場で受験を希望する者は、出願時に希望試験場を選択することとなりますが、受験希望者が札幌試験場の収容人員を超えた場合、その超過人員は岩手大学試験場で受験することとなります。

なお、収容人員等については11月下旬に本学ウェブサイト上で公表する「岩手大学一般選抜学生募集要項」で確認してください。

学 部	日 程	試 験 場
人文社会科学部	前期日程	岩手大学試験場
	後期日程	
教 育 学 部	前期日程	岩手大学試験場
	後期日程	
理 工 学 部	前期日程	岩手大学試験場及び札幌試験場
	後期日程	
農 学 部	前期日程	岩手大学試験場及び札幌試験場
	後期日程	岩手大学試験場
獣 医 学 部	前期日程	岩手大学試験場

岩手大学試験場：岩手大学（盛岡市上田三丁目18-8）

札幌試験場：（前期日程）TKPガーデンシティ札幌駅前（札幌市中央区北2条西2-19）

（後期日程）TKP札幌カンファレンスセンター北3条（札幌市中央区北3条西3-1-6）

V 学校推薦型選抜

大学入学共通テスト及び本学において実施する個別学力検査を免除する学校推薦型選抜を行います。

なお、学校推薦型選抜に出願できる者は、合格した場合、入学を確約できる者とします。

- (1) 実施する学部、学科・課程及び募集人員等（出願要件、選抜方法等は次ページ以降参照）

学部	学科・課程等		募集人員	出願期間，選抜期日，合格発表日	
人文社会科学部	人間文化課程		40名	出願期間 令和6年11月1日(金) ～11月7日(木) 選抜期日 令和6年11月20日(水) 合格発表日 令和6年12月2日(月)	
	地域政策課程		20名		
教育学部	学校教育課程 教員養成課	小学校教育コース	25名		
		中学校教育コース	英語サブコース		3名
			美術サブコース		1名
			保健体育サブコース		2名
		理数教育コース	数学サブコース		5名
			理科サブコース		5名
	特別支援教育コース	4名			
理工学部	理工学科	化学クラス	10名		
		数理・物理クラス	4名		
		材料科学クラス	7名		
		情報系クラス	8名		
		電気電子・情報通信クラス	10名		
		機械知能航空クラス	15名		
		社会基盤・環境工学クラス	20名		
農学部	食料農学科	農学コース	4名		
		食品健康科学コース	3名		
	生命科学科	分子生物機能学コース	3名		
		分子生命医科学コース	2名		
	地域環境科学科	革新農業コース	7名		
		森林科学コース	7名		
	動物科学・水産科学科	動物科学コース	9名		
		水産システム学コース	5名		

- (2) 一般選抜への出願

学校推薦型選抜に合格しなかった場合、一般選抜志願者と同様の手続により本学及び他の国公立大学・学部へ出願することができます。（大学入学共通テストを受験する必要があります。）

- (3) その他

学校推薦型選抜の詳細については、9月上旬に「岩手大学学校推薦型選抜学生募集要項」で公表する予定です。

人文社会科学部

課程等	出願要件	選抜方法等
人間文化課程 地域政策課程	<p>高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者及び令和7年3月に卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月に修了見込みの者で、次の条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 <p>なお、推薦できる人数は、人間文化課程で1校4名以内、地域政策課程で1校2名以内とします。</p>	<p>大学入学共通テスト及び本学において実施する個別学力検査を免除し、小論文、面接、出身学校長からの推薦書、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。</p>

- ・推薦人数については、分校は、本校とは別に1校として取り扱います。また、定時制コース、通信制コースは、本校・分校とも、それぞれ1校として取り扱います。

教育学部

課程・コース	出願要件	選抜方法等
小学校教育 コース	<p>高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者及び令和7年3月に卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月に修了見込みの者で、次の条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 <p>なお、推薦できる人数は、1校2名以内とします。</p>	<p>大学入学共通テスト及び本学において実施する個別学力検査を免除し、小論文、面接、出身学校長からの推薦書、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。</p>
中学校教育 コース 英語サブコース	<p>高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者及び令和7年3月に卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月に修了見込みの者で、次の条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 <p>なお、推薦できる人数は、1校1名とします。</p>	<p>大学入学共通テスト及び本学において実施する個別学力検査を免除し、小論文、面接（英語による口頭試問を含む）、出身学校長からの推薦書、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。</p>
学校教育教員養成課程 中学校教育 コース 美術サブコース	<p>高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者及び令和7年3月に卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月に修了見込みの者で、次の条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 <p>なお、推薦できる人数は、1校1名とします。</p>	<p>大学入学共通テスト及び本学において実施する個別学力検査を免除し、実技検査、面接、出身学校長からの推薦書、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。</p> <p>受験時には、資料ファイル（これまでに制作した作品や芸術活動についてまとめた資料・様式任意）を持参してください。面接の際に、資料ファイルについての説明を求めます。</p> <p>なお、資料ファイルには、出身学校長の証明書を添付してください。</p> <p>実技検査の詳細については、次ページで確認してください。</p>
中学校教育 コース 保健体育 サブコース	<p>高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者及び令和7年3月に卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月に修了見込みの者で、次の条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 <p>なお、推薦できる人数は、1校1名とします。</p>	<p>大学入学共通テスト及び本学において実施する個別学力検査を免除し、実技検査、面接、出身学校長からの推薦書、調査書、運動歴調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。</p> <p>実技検査の詳細については、次ページで確認してください。</p>

課程・コース		出願要件	選抜方法等
学校教育教員養成課程	理数教育コース 数学サブコース 理科サブコース 【注】	<p>高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者及び令和7年3月に卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月に修了見込みの者で、次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 ② 入学後は小学校教育専修に所属することを確約できる者</p> <p>なお、推薦できる人数は、それぞれのサブコースで1校1名とします。</p>	<p>大学入学共通テスト及び本学において実施する個別学力検査を免除し、小論文、面接、出身学校長からの推薦書、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。</p>
	特別支援教育コース	<p>高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者及び令和7年3月に卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月に修了見込みの者で、次の条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>・ 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>なお、推薦できる人数は、1校1名とします。</p>	<p>大学入学共通テスト及び本学において実施する個別学力検査を免除し、小論文、面接、出身学校長からの推薦書、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。</p>

【注】 数学サブコース及び理科サブコースの入学者は、「小学校教育専修」に所属することになります。

・推薦人数については、分校は、本校とは別に1校として取り扱います。また、定時制コース、通信制コースは、本校・分校とも、それぞれ1校として取り扱います。

実技検査

中学校教育コース美術サブコースの実技検査の内容は次のとおりです。

受験時に以下の用具を持参してください。

コース	検査内容	持参する用具
中学校教育コース 美術サブコース	<p>デッサン（石膏像）</p> <p>(1) 木炭 (2) 鉛筆</p> <p>※ 出願時に、(1)又は(2)のいずれかを選択してください。</p>	<p>木炭用具一式又は鉛筆用具一式</p> <p>※ 木炭紙又は画用紙及びカルトンは大学で用意します。</p>

中学校教育コース保健体育サブコースの実技検査の内容は次のとおりです。

受験時に以下の用具を持参してください。

コース	検査内容	持参する用具
中学校教育コース 保健体育サブコース	<p>基礎運動能力試験</p> <p>(1) 助走付き30mハードル走 (2) 5-10-15m折り返し走 (3) サッカージグザグドリブル (4) 立ち三段跳び (5) ソフトボール投げ (6) 1500m走</p>	<p>アウトドアシューズ インドアシューズ 実技に相応しい服装</p>

理工学部

	出願要件	選抜方法等
理工学科 全クラス 共通事項	高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。以下同じ。）を令和7年3月に卒業見込みの者（令和6年度中に高等学校の卒業を認められた者を含みます。）又は通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月に修了見込みの者	大学入学共通テスト及び本学において実施する個別学力検査を免除し、面接（口頭試問を含みます。）、出身学校長からの推薦書、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。

学科・クラス	出願要件	選抜方法等	
理工学科	化学クラス	<p>次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 化学分野の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者</p> <p>② 出身学校において、次のア、イいずれかの科目を履修している者</p> <p>ア 「物理基礎、化学基礎、生物基礎」から2科目以上及び「物理、化学、生物」から1科目以上</p> <p>イ 「理数物理、理数化学、理数生物」から2科目以上</p> <p>なお、推薦できる人数は、1校3名以内とします。</p>	<p>口頭試問の対象となる教科（科目）は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C）、理科（化学基礎）と外国語（英語）です。</p> <p>また、出題内容は基礎的な内容とします。</p> <p>※ 数学Aの出題範囲は「図形の性質」と「場合の数と確率」とします。数学Bの出題範囲は「数列」とします。数学Cの出題範囲は「ベクトル」とします。</p>
	数理・物理クラス	<p>次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 数理科学・物理科学の分野の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者</p> <p>② 出身学校において、次のア、イいずれかの科目を履修している者</p> <p>ア 「物理基礎、化学基礎」の2科目及び「物理、化学」から1科目以上</p> <p>イ 「理数物理、理数化学」の2科目</p> <p>なお、推薦できる人数は、1校3名以内とします。</p>	<p>口頭試問の対象となる教科（科目）は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C）、理科（「物理基礎」か「化学基礎」のどちらかを選択）及び外国語（英語）です。</p> <p>また、出題内容は基礎的な内容とします。</p> <p>※ 数学Aの出題範囲は「図形の性質」と「場合の数と確率」とします。数学Bの出題範囲は「数列」とします。数学Cの出題範囲は「ベクトル」とします。</p>
	材料科学クラス	<p>次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 物質科学・材料工学の分野の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者</p> <p>② 出身学校において、次のア、イいずれかの科目を履修している者</p> <p>ア 「物理基礎、化学基礎」の2科目及び「物理、化学」から1科目以上</p> <p>イ 「理数物理、理数化学」の2科目</p> <p>なお、推薦できる人数は、1校3名以内とします。</p>	<p>口頭試問の対象となる教科（科目）は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C）、理科（「物理基礎」か「化学基礎」のどちらかを選択）及び外国語（英語）です。</p> <p>また、出題内容は基礎的な内容とします。</p> <p>※ 数学Aの出題範囲は「図形の性質」と「場合の数と確率」とします。数学Bの出題範囲は「数列」とします。数学Cの出題範囲は「ベクトル」とします。</p>

学科・クラス		出願要件	選抜方法等
理工学科	情報系 クラス	次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者 ① 情報学分野（情報技術・知能情報・メディア情報・情報デザイン）の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者 ② 出身学校において、「物理基礎、物理、理数物理」から1科目以上及び「化学基礎、化学、理数化学、科学と人間生活」から1科目以上を履修している者 なお、推薦できる人数は、1校3名以内とします。	口頭試問の対象となる教科（科目）は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C）と「情報Ⅰ」です。 また、出題内容は基礎的な内容とします。 ※ 数学Aの出題範囲は「図形の性質」と「場合の数と確率」とします。数学Bの出題範囲は「数列」とします。数学Cの出題範囲は「ベクトル」とします。
	電気電子・ 情報通信 クラス	次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者 ① 電気電子・情報通信工学の分野の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者 ② 出身学校において、「物理基礎、物理、理数物理」から1科目以上及び「化学基礎、化学、理数化学、科学と人間生活」から1科目以上を履修している者 なお、推薦できる人数は、1校3名以内とします。	口頭試問の対象となる教科（科目）は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C）です。 また、出題内容は基礎的な内容とします。 ※ 数学Aの出題範囲は「図形の性質」と「場合の数と確率」とします。数学Bの出題範囲は「数列」とします。数学Cの出題範囲は「ベクトル」とします。
	機械知能 航空クラス	次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者 ① 機械知能航空の分野の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者 ② 出身学校において、「物理基礎、物理、理数物理」から1科目以上及び「化学基礎、理数化学」から1科目以上を履修している者 なお、推薦できる人数は、1校3名以内とします。	口頭試問の対象となる教科（科目）は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C）、理科（物理基礎）と外国語（英語）です。 また、出題内容は基礎的な内容とします。 ※ 数学Aの出題範囲は「図形の性質」と「場合の数と確率」とします。数学Bの出題範囲は「数列」とします。数学Cの出題範囲は「ベクトル」とします。
	社会基盤・ 環境工学 クラス	次の二つの条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者 ① 社会基盤・環境工学の分野の勉学に意欲があり、大学での学修に優れた成果が期待できる者 ② 出身学校において、次のア、いずれかの科目を履修している者 ア 「物理基礎、化学基礎、生物基礎」から2科目以上及び「物理、化学、生物」から1科目以上 イ 「理数物理、理数化学、理数生物」から2科目以上 なお、推薦できる人数は、1校5名以内とします。	口頭試問の対象となる教科（科目）は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C）、理科（「物理基礎」か「化学基礎」のどちらかを選択）と外国語（英語）です。 また、出題内容は基礎的な内容とします。 ※ 数学Aの出題範囲は「図形の性質」と「場合の数と確率」とします。数学Bの出題範囲は「数列」とします。数学Cの出題範囲は「ベクトル」とします。

・推薦人数については、分校は、本校とは別に1校として取り扱います。また、定時制コース、通信制コースは、本校・分校とも、それぞれ1名の推薦を認めます。

※ 大学入学共通テストは課しませんが、合格後の学習継続と本学入学後の学修に支障をきたさないために、大学入学共通テストを受験することを強く推奨します。

農学部

学科	出願要件	選抜方法等
食料農学科 農学コース 食品健康科学コース 生命科学科 分子生物機能学コース 分子生命医科学コース 地域環境科学科 革新農業コース 森林科学コース 動物科学・水産科学科 動物科学コース 水産システム学コース	<p>高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者及び令和7年3月に卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月に修了見込みの者で、次の条件を満たし、かつ人物、学力ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 <p>なお、推薦できる人数は、コース毎に1校3名以内とします。</p>	<p>大学入学共通テスト及び本学において実施する個別学力検査を免除し、小論文、面接、出身学校長からの推薦書、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。</p>

- ・推薦人数については、分校は、本校とは別に1校として取り扱います。また、定時制コース、通信制コースは、本校・分校とも、それぞれ1校として取り扱います。
- ・個人面接では、農学部アドミッション・ポリシーに適合するかなどを総合的に評価します。面接での評価が著しく低い場合は、総得点に関わらず不合格とすることがあります。

VI 理工学部総合型選抜

理工学部では、大学入学共通テストを課さない総合型選抜Ⅰ及び大学入学共通テストを課す総合型選抜Ⅱの2区分で総合型選抜を実施します。

詳細については、「岩手大学理工学部総合型選抜学生募集要項」で確認してください。

1 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

(1) 地域協創ものづくりプログラム

入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び本学において実施する個別学力検査を免除し、下記の方法により行います。

対象学科・ コース及び 募集人員	理工学科 電気電子・情報通信コース } 5名 機械知能航空コース
出願資格	高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。以下同じ。）を令和7年3月に卒業見込みの者（令和6年度中に高等学校の卒業を認められた者を含みます。）又は通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月に修了見込みの者
出願要件	次の①②を全て満たす者 ① 地域協創ものづくりプログラムでの勉学に意欲があり、合格した場合は、入学することを確約できる者 ② 出身学校において、「物理基礎，理数物理」から1科目以上及び「化学基礎，理数化学，科学と人間生活」から1科目以上を履修している者
選抜方法等	1 第1次選考 書類審査により行います。 2 第2次選考 第1次選考の合格者に対して、プレゼンテーション及び面接（口頭試問を含む）を課し、基礎学力・論理的な思考力・情報収集能力・ものづくりに対する興味等を総合的に評価します。 なお、口頭試問の対象となる教科（科目）は、数学（数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B）です。数学Aの出題範囲は「図形の性質」と「場合の数と確率」とします。数学Bの出題範囲は「数列」とします。
出願期間	令和6年9月2日（月）～5日（木）
選抜期日	（第1次選考）〈書類選考〉 （第2次選考）令和6年10月4日（金）
合格発表日	（第1次選考）令和6年9月19日（木） 13時 （第2次選考）令和6年11月1日（金） 13時

(2) 地域防災・まちづくりプログラム

入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び本学において実施する個別学力検査を免除し、下記の方法により行います。

対象学科・コース及び募集人員	理工学科 社会基盤・環境工学コース 5名
出願資格	高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。以下同じ。）を令和7年3月に卒業見込みの者（令和6年度中に高等学校の卒業を認められた者を含みます。）又は通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月に修了見込みの者
出願要件	次の①②を全て満たす者 ① 自身の活動実績、明確な志望動機や自己アピール力を有する者で、合格した場合は、入学することを確約できる者 ② 出身学校において、次のア、いずれかの科目を履修している者 ア 「物理基礎、化学基礎、生物基礎」から2科目以上及び「物理、化学、生物」から1科目以上 イ 「理数物理、理数化学、理数生物」から2科目以上
選抜方法等	1 第1次選考 書類審査により行います。 2 第2次選考 第1次選考の合格者に対して、面接（口頭試問を含む）及びプレゼンテーションを課し、基礎学力、構想力、表現力、論理的な思考力、情報収集能力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。 なお、口頭試問の対象となる教科（科目）は、英語、理科（物理基礎、化学基礎の2科目）、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C）です。数学Aの出題範囲は「図形の性質」と「場合の数と確率」とします。数学Bの出題範囲は「数列」とします。数学Cの出題範囲は「ベクトル」とします。
出願期間	令和6年9月2日（月）～5日（木）
選抜期日	（第1次選考）〈書類選考〉 （第2次選考）令和6年10月4日（金）
合格発表日	（第1次選考）令和6年9月19日（木） 13時 （第2次選考）令和6年11月1日（金） 13時

※ 他の入試への出願について

総合型選抜Ⅰに合格しなかった場合、学校推薦型選抜及び一般選抜志願者と同様の手続により本学及び他の国公立大学・学部へ出願することができます。（一般選抜に出願する場合、大学入学共通テストを受験する必要があります。）

2 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

クリエイティブ情報コース

入学者の選抜は、本学において実施する個別学力検査を免除し、下記の方法により行います。

対象学科・コース及び募集人員	理工学科 クリエイティブ情報コース 5名	
出願資格	高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。以下同じ。）を令和7年3月に卒業見込みの者（令和6年度中に高等学校の卒業を認められた者を含みます。）又は通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月に修了見込みの者	
出願要件	情報系技術や情報デザインに強い関心と意欲を持ち、多様な価値観を理解し、協働する意欲を持つ者で、合格した場合は、入学することを確約できる者	
選抜方法等	1 プレゼンテーション試験 調査書及びプレゼンテーションにより、下記について評価します。 ・クリエイティブ情報コースで学ぶ意欲 ・作品制作に関する主体性及び考え方 ・コミュニケーション能力	
	2 学力検査 大学入学共通テスト（6教科7科目）により、学力を評価します。 《大学入学共通テストで受験を要する教科・科目》	
	教科	科目名等
	国語	国
	地歴 公民	「地総、地探」、 「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 「地総／歴総／公」、 「公、倫」、 「公、政・経」 }から1
	数学	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」
	理科	物、化、生から1
	外国語 情報	英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ
出願期間	令和6年9月2日（月）～5日（木）	
選抜期日	（プレゼンテーション試験）令和6年10月4日（金） （学力検査）（大学入学共通テストを受験）	
合格発表日	令和7年2月10日（月） 15時	

※ 他の入試への出願について

総合型選抜Ⅱに合格しなかった場合に備えて、学校推薦型選抜及び一般選抜志願者と同様の手続により本学及び他の国公立大学・学部へ出願することができます。（一般選抜に出願する場合、大学入学共通テストを受験する必要があります。）

Ⅶ 農学部総合型選抜

農学部では、本学において実施する個別学力検査を免除する総合型選抜を行います。詳細については、「岩手大学農学部総合型選抜Ⅱ学生募集要項」で確認してください。

対象学科・コース及び募集人員	食料農学科 農学コース 3名 食料農学科 食品健康科学コース 2名 生命科学科 分子生物機能学コース 2名 生命科学科 分子生命医科学コース 2名 地域環境科学科 革新農業コース 5名 地域環境科学科 森林科学コース 3名 動物科学・水産科学科 水産システム学コース 2名														
出願資格	次の各号のいずれかに該当し、農学分野の学修に深い関心と意欲を持ち、合格した場合は入学することを確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。以下同じ。）を卒業した者及び令和7年3月に卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月に修了見込みの者 (3) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和7年3月31日までに合格見込みの者〔同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含みます。〕で、令和7年3月31日までに18歳に達する者														
選抜方法等	<p>入学者の選抜は、本学において実施する個別学力検査を免除し、大学入学共通テスト、面接及び出願書類を総合して判定します。 個人面接では、農学部アドミッション・ポリシーに適合するかなどを総合的に評価します。面接での評価が著しく低い場合は、総得点に関わらず不合格とすることがあります。</p> <p>《大学入学共通テストで受験を要する教科・科目》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>科目名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>国</td> </tr> <tr> <td>地歴 公民</td> <td>「地総、地探」、 「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 }から1 「地総／歴総／公」、 「公、倫」、 「公、政・経」</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>（「数Ⅰ、数A」、 「数Ⅰ」から1）と「数Ⅱ、数B、数C」</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>物、化、生、地から2</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1</td> </tr> <tr> <td>情報</td> <td>情報Ⅰ</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 旧教育課程履修者については、P39の「(6)旧教育課程履修者に対する経過措置について」の内容と同様の措置を行います。</p>	教科	科目名等	国語	国	地歴 公民	「地総、地探」、 「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 }から1 「地総／歴総／公」、 「公、倫」、 「公、政・経」	数学	（「数Ⅰ、数A」、 「数Ⅰ」から1）と「数Ⅱ、数B、数C」	理科	物、化、生、地から2	外国語	英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1	情報	情報Ⅰ
教科	科目名等														
国語	国														
地歴 公民	「地総、地探」、 「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 }から1 「地総／歴総／公」、 「公、倫」、 「公、政・経」														
数学	（「数Ⅰ、数A」、 「数Ⅰ」から1）と「数Ⅱ、数B、数C」														
理科	物、化、生、地から2														
外国語	英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1														
情報	情報Ⅰ														
出願期間	令和6年12月2日（月）～6日（金）														
選抜期日	令和6年12月27日（金）														
合格発表日	令和7年2月10日（月） 15時														

※ 他の入試への出願について

総合型選抜Ⅱに合格しなかった場合に備えて、一般選抜志願者と同様の手続により本学及び他の国公立大学・学部へ出願することができます。（一般選抜に出願する場合、大学入学共通テストを受験する必要があります。）

Ⅷ 獣医学部総合型選抜

獣医学部では、本学において実施する個別学力検査を免除する総合型選抜を行います。詳細については、「岩手大学獣医学部総合型選抜Ⅱ学生募集要項」で確認してください。

対象学科・ コース及び 募集人員	共同獣医学科 10名（一般枠8名 地域枠2名）
出願資格	<p>【一般枠】 次の各号のいずれかに該当し、獣医学分野の学修に深い関心と意欲を持ち、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。以下同じ。）を卒業した者及び令和7年3月に卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月に修了見込みの者</p> <p>(3) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和7年3月31日までに合格見込みの者〔同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含みます。〕で、令和7年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>【地域枠】 産業動物獣医師（産業動物臨床獣医師又は都道府県の公務員獣医師）の確保を目的とした修学資金給付事業を制定している機関・団体等のうち、東北地区の機関・団体等の長の推薦を受けた者（獣医師確保奨学制度受給内定者）であり、次の各号のいずれかに該当し、将来地域の産業動物獣医師に従事する意思を持ち、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。以下同じ。）を卒業した者及び令和7年3月に卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月に修了見込みの者</p> <p>(3) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和7年3月31日までに合格見込みの者〔同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含みます。〕で、令和7年3月31日までに18歳に達する者</p>

選 抜 方 法 等	<p>入学者の選抜は、本学において実施する個別学力検査を免除し、大学入学共通テスト、面接及び出願書類を総合して判定します。</p> <p>なお、面接は、個人面接に加え、当日提示される課題に対して自らの考えを説明する課題個人面接を行います。</p> <p>個人面接では、獣医学部アドミッション・ポリシーに適合するかなどを総合的に評価します。面接での評価が著しく低い場合は、総得点に関わらず不合格とすることがあります。</p> <p>《大学入学共通テストで受験を要する教科・科目》</p>	
	教 科	科 目 名 等
	国語	国
	地歴 公民	「地総、地探」、 「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 「地総／歴総／公」、 「公、倫」、 「公、政・経」 } から 1
	数学	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」
	理科	物、化、生、 から 2
	外国語	英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から 1
	情報	情報Ⅰ
	<p>※ 旧教育課程履修者については、P39の「(6)旧教育課程履修者に対する経過措置について」の内容と同様の措置を行います。</p>	
出 願 期 間	令和6年12月2日（月）～6日（金）	
選 抜 期 日	令和6年12月27日（金）	
合 格 発 表 日	令和7年2月10日（月） 15時	

※ 他の入試への出願について

総合型選抜Ⅱに合格しなかった場合に備えて、一般選抜志願者と同様の手続により本学及び他の国公立大学・学部へ出願することができます。（一般選抜に出願する場合、大学入学共通テストを受験する必要があります。）

Ⅸ 私費外国人留学生選抜

人文社会科学部、農学部及び獣医学部は大学入学共通テストを免除し、本学が実施する個別学力検査等（小論文、面接）、日本留学試験及び出願書類を総合して判定する私費外国人留学生選抜を行います。

理工学部では大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力検査等を免除し、日本留学試験及び出願書類を総合して判定する私費外国人留学生選抜を行います。

1 出願資格

次の(1), (2), (3)の全てに該当する者

- (1) 日本国籍を有しないで、出入国管理及び難民認定法において大学の入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者
- (2) 次のアからキのいずれかに該当する者
 - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - イ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
 - ウ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
 - エ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
 - オ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者
 - カ 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者
 - キ 国際的な評価団体（WASC, ECIS, ACSI）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者及び修了見込みの者
 - ク 本学において、個別の出願資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月31日までに18歳に達する者
- (3) 志願する学部の指定する日本留学試験を受験した者
 - ただし、理工学部、農学部及び獣医学部を志願する者は、次の要件も満たしていること。
 - ア 理工学部志願者は、日本留学試験の日本語（読解、聴解・聴読解）の合計が、260点以上であること。
 - イ 農学部志願者は、日本留学試験の日本語（読解、聴解・聴読解、記述）、数学及び理科（2科目）の各科目の得点が平均点以上であること。
 - ウ 獣医学部志願者は、日本留学試験の日本語（読解、聴解・聴読解）、数学及び理科の合計が640点以上（そのうち日本語の合計が300点以上）、かつ、日本語記述の得点が35点以上であること。

注1) (2)のキの資格で出願しようとする者は、「X その他 3 個別の出願資格審査」の要領に従って申請してください。((2)のアに該当する場合を除く)

注2) 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者又は同等以上の資格を得た者及び日本の永住許可を得ている者は、一般選抜の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜には出願できません。

2 選抜方法等

学 部		人文社会科学部	理工学部	農学部	獣医学部
項 目					
募集人員		若干名	若干名	若干名	若干名
本学で実施する 個別学力検査等		小論文 面接	課さない	面接	面接
日本留学試験 (注2)	利用科目	文系（日本語・総合 科目・数学） 又は理系（日本語・ 理科・数学）	理系（日本語・理 科・数学）	理系（日本語・理 科・数学）	理系（日本語・理 科・数学）
	数学のコース1, コース2の別（注1）	どちらでもよい	コース2	コース2	コース2
	理科の選択する2科 目	3科目から任意の2 科目選択	○理工学科（化学ク ラス, 数理・物理 クラス, 材料科学 クラス, 情報系ク ラス, 電気電子・ 情報通信クラス, 社会基盤・環境工 学クラス） 「物理」「化学」「生 物」から2科目 ○理工学科（機械知 能航空クラス） 「物理」と「化学 又は生物から1科 目」の2科目	3科目から任意の2 科目選択	3科目から任意の2 科目選択
	日本留学試験の出題 言語	日本語, 英語のどち らでもよい	日本語	日本語, 英語のどち らでもよい	日本語, 英語のどち らでもよい
	日本留学試験の利用	令和6年6月又は11 月のどちらでもよい	令和6年6月又は11 月のどちらでもよい	令和6年6月又は11 月のどちらでもよい	令和6年6月又は11 月のどちらでもよい
選抜方法等	大学入学共通テストを免除し、以下の選抜方法で判定します。 (1) 人文社会科学部, 農学部, 獣医学部 本学が実施する個別学力検査等（小論文, 面接）, 日本留学試験及び出願書類を総合 して判定します。 (2) 理工学部 本学が実施する個別学力検査等を免除し、日本留学試験及び出願書類を総合して判定 します。				
出願期間	理工学部 人文社会科学部, 農学部, 獣医学部	令和7年1月21日（火）～23日（木）まで 令和7年1月27日（月）～2月5日（水）まで			
選抜期日	理工学部 人文社会科学部, 農学部, 獣医学部	書類審査 令和7年2月25日（火）			
合格発表日	理工学部 人文社会科学部, 農学部, 獣医学部	令和7年2月10日（月） 令和7年3月6日（木）			

注1) コース1は、数学を必要とする程度が比較的少ない学部用

コース2は、数学を高度に必要とする学部用

注2) 日本留学試験については、独立行政法人日本学生支援機構（〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-6-26
HI横浜ビル7階 日本留学試験受付センター ☎ 0570-55-0585 FAX 045-620-7962）に照会してください。

3 その他

私費外国人留学生選抜の詳細については、11月上旬に「岩手大学私費外国人留学生選抜学生募集要項」で公表する予定です。

X その他

1 予期せぬ事態が発生した場合の選抜方法について

大規模災害等、予期せぬ事態が発生した場合、選抜方法を変更することがあります。

2 検定料免除

岩手大学では、災害救助法適用の災害により被災した方が、経済的な理由により大学進学を断念することがないように、検定料について免除措置を行います。申請する方は、出願手続きの際と一緒に申請手続きを行ってください。

なお、申請手続等の詳細については、本学ウェブサイト (<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/index.html>) で確認してください。

3 個別の出願資格審査

本学に学校教育法施行規則第150条第7号の規定により出願しようとする者については、次のとおり事前に出願資格審査を行います。

(1) 出願資格審査の対象者

- ① 高等学校に相当する、外国人を対象に教育を行うことを目的とした教育施設を卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者
- ② 各種の学校等での学習歴及び社会での実務経験等が、高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる者

(2) 申請期間及び申請方法

出願資格の認定を受けようとする者は、下記の期日までに申請書類を取りそろえて申請してください。

なお、郵送する場合は、必ず書留郵便とし封筒の表に「大学出願資格認定申請書在中」と朱書きしてください。

入 試 区 分		申請期間
一般選抜		令和6年8月30日（金）まで
※ 大学入学共通テスト出願後に、志望大学を本学へ変更し出願する者		令和7年1月21日（火）まで
私費外国人留学生選抜	理工学部	令和6年11月29日（金）まで
	人文社会科学部、農学部及び獣医学部	令和7年1月8日（水）まで

(3) 申請書類等

申請書類等は、下記のウェブサイトを確認してください。

<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/undergraduate/requirements.html>

(4) 審査の方法及び審査期間

審査は、提出された申請書類により原則として下記の期日までに行います。

入 試 区 分		審査期間
一般選抜		令和6年9月13日（金）まで
※ 大学入学共通テスト出願後に、志望大学を本学へ変更し出願する者		令和7年1月24日（金）まで
私費外国人留学生選抜	理工学部	令和6年12月6日（金）まで
	人文社会科学部、農学部及び獣医学部	令和7年1月14日（火）まで

(5) 審査機関

岩手大学入試委員会の審査を経て、岩手大学長が認定します。

(6) 審査基準

① 「(1) 出願資格審査の対象者」の①に該当する者

申請者の当該教育施設の教育内容等が高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校と同等以上であるかを審査します。その結果、高等学校の教育内容と同等以上と認められ、かつ申請者が必要単位を修得（修得見込み）している場合は、原則として「高等学校を卒業した者と同等以上の学力がある者」として認定します。

② 「(1) 出願資格審査の対象者」の②に該当する者

申請者の学習歴及び社会での実績等について精査し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかを審査します。その結果、学習歴等について高等学校卒業と同等以上の学力があると認められた場合は、原則として「高等学校を卒業した者と同等以上の学力がある者」として認定します。

(7) 審査結果の通知

審査の結果、出願資格を認められた者については、下記の期日までに申請者あてに「岩手大学出願資格認定書」を送付します。

なお、出願資格を認められなかった者については、理由を付して結果を送付します。

入 試 区 分		審査結果の通知
一般選抜		令和6年9月27日（金）まで
※ 大学入学共通テスト出願後に、志望大学を本学へ変更し出願する者		令和7年1月27日（月）まで
私費外国人留学生選抜	理工学部	令和6年12月13日（金）まで
	人文社会科学部、農学部及び獣医学部	令和7年1月17日（金）まで

(8) 岩手大学入学者選抜試験の受験について

「岩手大学出願資格認定書」の交付を受けた者は、本学の入学者選抜試験に出願することができます。出願の際は、必ず「岩手大学出願資格認定書」の写しを提出してください。

(9) 送付先及び問い合わせ先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

☎ 019-621-6064

4 入試過去問題活用宣言について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、本学のアドミッション・ポリシーに基づき、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。

- (1) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧は、次のURLで公表しています。

<https://www.nyushikakomon.jp>

- (2) 入試過去問題は、そのまま使用する場合や一部改変して使用する場合があります。また、必ず使用するとは限りません。

- (3) 過去問題を使用した場合は、入学者選抜試験終了後、出典等を公表します。

5 障がい等を有する入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がいあるいは疾病等により受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合（本学ウェブサイト <https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/handicapped.html> 参照）は、出願の前に、「事前相談について」（次ページ様式参照）を提出してください。

なお、必要により、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行う場合がありますので、できるだけ早めに提出してください。

また、期限後に不慮の事故等により、受験上の特別な配慮が必要となった場合には、速やかに連絡してください。

- (1) 相談の時期

総合型選抜Ⅰ・Ⅱ（理工学部）	……………	令和6年8月19日（月）まで
学校推薦型選抜	……………	令和6年9月27日（金）まで
総合型選抜Ⅱ（農学部及び獣医学部）	……………	令和6年11月6日（水）まで
私費外国人留学生選抜（理工学部）	……………	令和6年12月6日（金）まで
一般選抜、私費外国人留学生選抜（人文社会科学部、農学部及び獣医学部）	……………	令和7年1月9日（木）まで

- (2) 提出先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

年 月 日

岩手大学長 殿

氏 名
(志願者との関係)
住 所
電 話 — —

事前相談について

下記により事前に相談したいので、関係書類を添えて提出します。

記

1 志願者氏名

ふりがな 氏 名	男・女	生年月日	年 月 日生
現住所	〒 —	電話	— —
出身学校名		電話	— —

2 志望学部等名

学部・学科等	学部		学科 課程	コース クラス		
出願区分 (出願区分を○で囲む)	総合型 I	総合型 II	学校推薦型	私費外国人	前期日程	後期日程

3 障がいの種類・程度

4 受験上特別な配慮を希望する事項・内容

5 修学上特別な配慮を希望する事項・内容

6 出身学校在学中にとられていた特別な配慮

7 日常生活の状況

8 添付書類

(1) 健康診断書

(2) その他

注1 出身学校関係者等が記入してください。

注2 6の「出身学校在学中にとられていた特別な配慮」については、詳細に記入してください。

注3 本用紙に書ききれない場合には、適宜別紙に記入しても構いません。

注4 健康診断書等の書類は、写しで構いませんので、必ず添付してください。

注5 ※欄には記入しないでください。

※ 大学記入欄

6 入試情報の提供

- (1) 入学者選抜実施状況の公表
過年度の入学者選抜実施状況については、本学ウェブサイトの入試情報ページで、過去5年分を公表しています。
<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/>
- (2) 受験者に対する試験成績等の開示
本学では、受験者本人（合格・不合格の選考結果を問わず、全受験者を対象とします。）の申請により、令和7年度入学者選抜試験に関わる試験成績及び調査書を開示します。
なお、詳細については、それぞれの募集要項で確認してください。

7 学生募集要項の公表

試験の実施期日、出願手続、出願書類等を含む「学生募集要項」の公表予定は次のとおりです。

- (1) 理工学部総合型選抜学生募集要項…………… 令和6年7月下旬
 - (2) 農学部総合型選抜Ⅱ学生募集要項…………… 令和6年7月下旬
 - (3) 獣医学部総合型選抜Ⅱ学生募集要項…………… 令和6年7月下旬
 - (4) 学校推薦型選抜学生募集要項…………… 令和6年9月上旬
 - (5) 私費外国人留学生選抜学生募集要項…………… 令和6年11月上旬
 - (6) 一般選抜学生募集要項（ウェブサイト上のみ）… 令和6年11月下旬
- ※ 一般選抜（前期日程、後期日程）については、インターネット出願を導入しているため、紙媒体の学生募集要項の配布は行いません。本学ウェブサイト上で、電子ファイル（PDF）にて公表予定です。



8 学生募集要項等の請求方法及び請求先

本学で発行する要項及び大学案内等は無料です。（送料のみ負担願います。）
請求できる資料、必要な料金、お支払い方法等は請求方法によって異なりますので、ご注意ください。

なお、岩手大学学務部入試課で、直接配付もしております。ただし、土日祝日及び全学休業日（8/9～8/16、12/28～1/3）は除きます。

インターネットで請求する場合

パソコン又は携帯電話でテレメール又はモバっちょにアクセスしてください。

ア) テレメール	https://telemail.jp	QRコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。			
				資 料 名	資料請求番号
				大学案内	5 6 0 6 8 2
				入学者選抜要項	5 8 0 6 8 2
				入学者選抜要項及び大学案内	5 6 0 6 5 2
				学校推薦型選抜学生募集要項	5 8 0 6 6 2
				理工学部総合型選抜学生募集要項	6 0 0 0 7 2
				農学部総合型選抜Ⅱ学生募集要項	5 8 0 6 9 2
				獣医学部総合型選抜Ⅱ学生募集要項	7 0 8 9 4 2
私費外国人留学生選抜学生募集要項	5 6 1 1 4 2				
イ) モバっちょ	https://djc-mb.jp/iwate-u/				

ア) の請求方法についてのお問い合わせ

テレメールカスタマーセンター ☎ 050-8601-0102（9：30～18：00）

イ) の請求方法についてのお問い合わせ

モバっちょカスタマーセンター ☎ 050-3540-5005（平日10：00～18：00）

キャンパスマップ
全体図はこちら



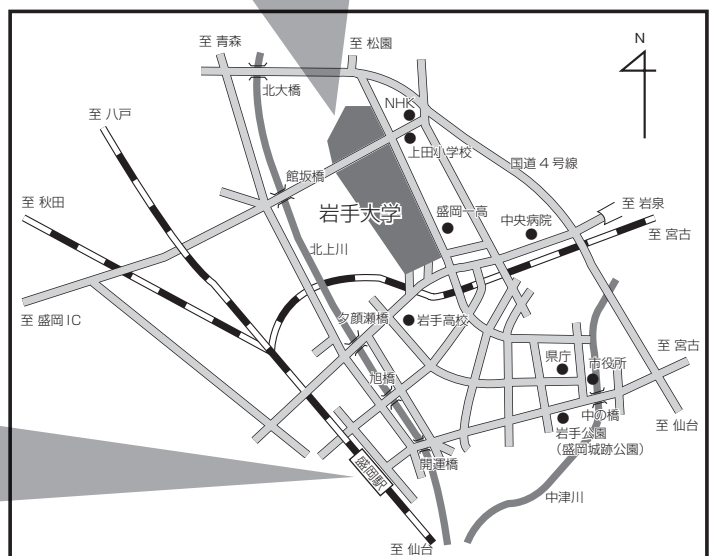
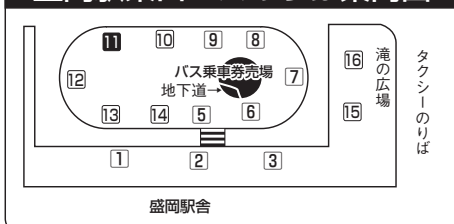
9 建物配置及び案内図



学 部	盛岡駅前(バスターミナル11番のりば)からの交通機関
人文社会科学部 教育学部 農 学 部 獣 医 学 部	<ul style="list-style-type: none"> 岩手県交通バスの駅上田線の松園バスターミナル行き「岩手大学前」下車 岩手県交通バスの駅桜台団地線の桜台団地行き「岩手大学前」下車
理 工 学 部	<ul style="list-style-type: none"> 岩手県交通バスの駅上田線の松園バスターミナル行き「上田四丁目」下車 岩手県交通バスの駅桜台団地線の桜台団地行き「理工学部東口」下車

※ 本町、山岸、洞清水経由のバスには乗車しないでください。
 注1) 盛岡駅から約2km 徒歩約30分です。
 注2) タクシー利用の場合 盛岡駅「タクシーのりば」から約10分で、料金は1,300円程度です。
 注3) 盛岡駅行き(帰り)のバス停については、上記の案内図を参照してください。

盛岡駅東口バスのりば案内図



岩手大学への各種問い合わせについては下記により行ってください。

問い合わせ時間等 月曜日から金曜日 9時00分から17時00分まで
※ただし、祝日、全学休業日（8/9～8/16、12/28～1/3）は除きます。

★入学試験に関すること

入学試験等に関する問い合わせは、志願者本人が行ってください。

岩手大学学務部入試課 ☎ 019-621-6064

★奨学金（日本学生支援機構等）に関すること

岩手大学学務部学生支援課 ☎ 019-621-6062

★入学料徴収猶予及び入学料・授業料免除に関すること

岩手大学学務部学生支援課 ☎ 019-621-6506

☎ 019-621-6882

★学生寮に関すること

岩手大学学務部学生支援課 ☎ 019-621-6060

☎ 019-621-6749

★入学料及び授業料納入に関すること

岩手大学法人運営部経理課 ☎ 019-621-6031

岩手大学ホームページアドレス

<https://www.iwate-u.ac.jp/>

